

日本語教育に関するアンケート 報告書

令和 7 年 7 月

目次

1 アンケートの概要

1.1 実施目的	1
1.2 実施期間	1
1.3 実施内容	1
1.4 報告書についての留意事項	1

2 アンケートの結果

2.1 在住外国人	2
2.2 外国人を雇用する企業	18
2.3 市町村	32
2.4 地域国際交流協会	39
2.5 地域日本語教室	46
2.6 高等教育機関	60

1 アンケートの概要

1.1 実施目的

徳島県における今後の日本語教育の参考とするため、アンケート調査を実施。

1.2 実施期間

令和7年2月～4月上旬（市町村は令和6年秋に実施）

1.3 実施内容

- | | |
|----------|---|
| (1)調査地域 | 徳島県全域 |
| (2)調査対象者 | 徳島県内の在住外国人、外国人を雇用する企業、
市町村、地域国際交流協会、地域日本語教室、高等教育機関 |
| (3)調査方法 | Google Form 及び アンケート用紙配布 |

1.4 報告書についての留意事項

- ・ 構成比は小数点以下2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならないことがある。
- ・ 設問や表・グラフ文中に示す選択肢は文言を短縮、又は、換言している場合がある。
- ・ 自由記載の回答・意見については、主な意見を基本的に原文のまま記載している。ただし、誤字・脱字や個人・企業・団体が特定されうる場合等は修正している。
- ・ 回答数の多い順に並び替えている場合がある。

2 アンケートの結果

2.1 在住外国人

(1)有効回答数

262

(2)アンケート実施言語

5言語(やさしい日本語、ベトナム語、中国語、インドネシア語、英語)

(3)調査方法

Google Form

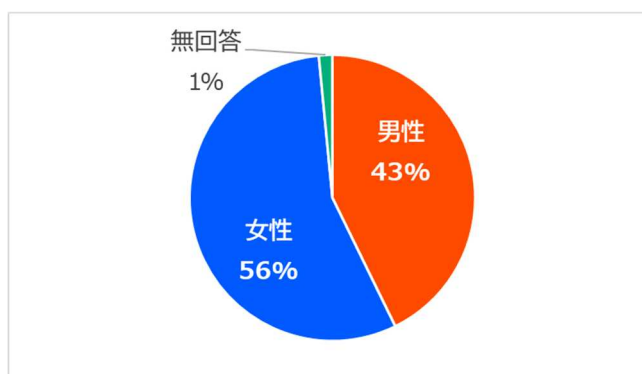
(4)周知方法

市町村や教育委員会、地域国際交流協会や地域日本語教室、
県内企業等に周知・拡散を依頼(約560の機関)

2.1.1 回答者について

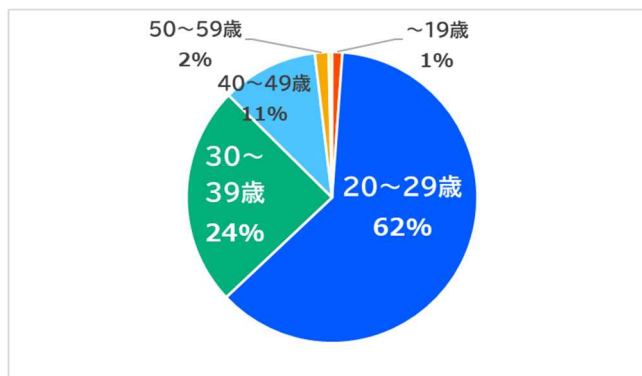
(1)性別

男性	112
女性	146
無回答	4
計	262



(2)年齢

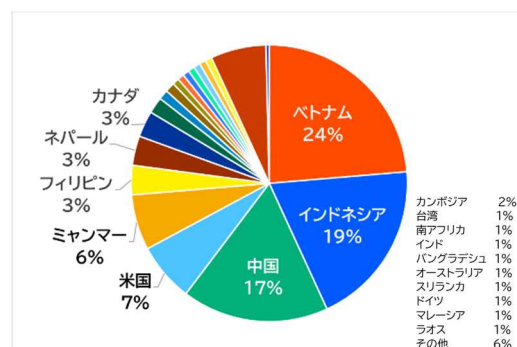
～19歳	3
20～29歳	162
30～39歳	64
40～49歳	28
50～59歳	4
無回答	1
計	262



2 アンケートの結果

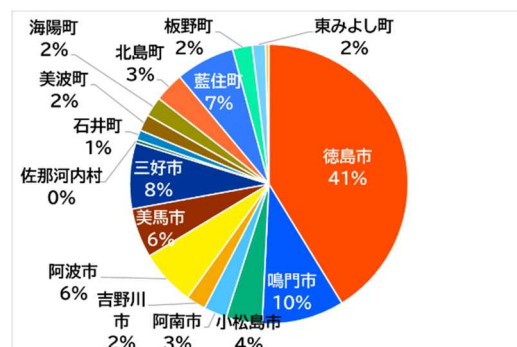
(3)国籍

ベトナム	62	南アフリカ	3
インドネシア	51	インド	2
中国	45	バングラデシュ	2
米国	18	オーストラリア	2
ミャンマー	17	スリランカ	2
フィリピン	9	ドイツ	2
ネパール	9	マレーシア	2
カナダ	8	ラオス	2
カンボジア	5	その他	17
台湾	3	無回答	1
		計	262



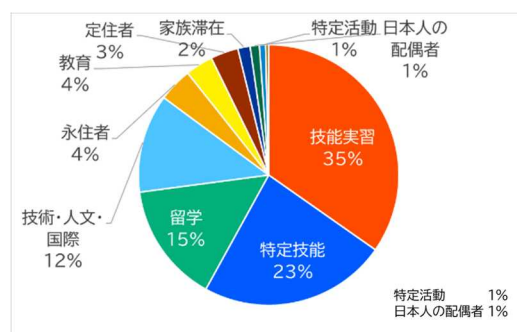
(4)居住地

徳島市	108	石井町	3
鳴門市	25	美波町	5
小松島市	11	海陽町	6
阿南市	7	北島町	9
吉野川市	6	藍住町	18
阿波市	17	板野町	6
美馬市	15	東みよし町	4
三好市	20	無回答	1
佐那河内村	1	計	262



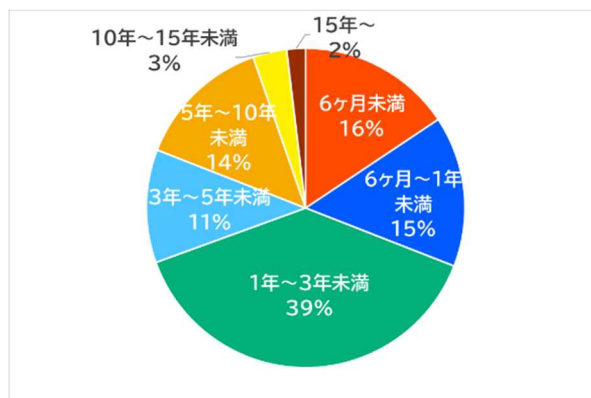
(5)在留資格

技能実習	91	定住者	9
特定技能	61	家族滞在	4
留学	39	日本人の配偶者	3
技術・人文・国際	32	特定活動	2
永住者	11	無回答	1
教育	9	計	262



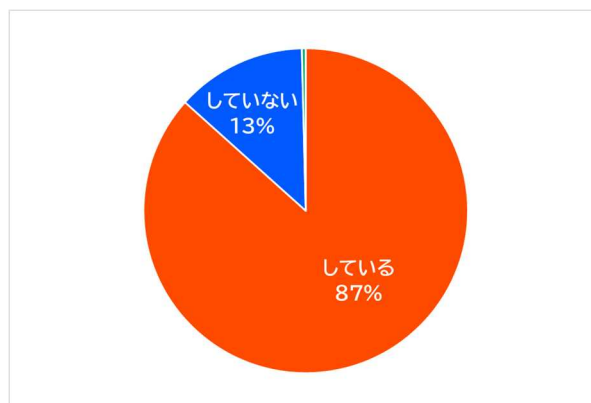
(6)日本で生活している期間

6ヶ月未満	41
6ヶ月～1年未満	40
1年～3年未満	101
3年～5年未満	30
5年～10年未満	36
10年～15年未満	9
15年～	5
計	262



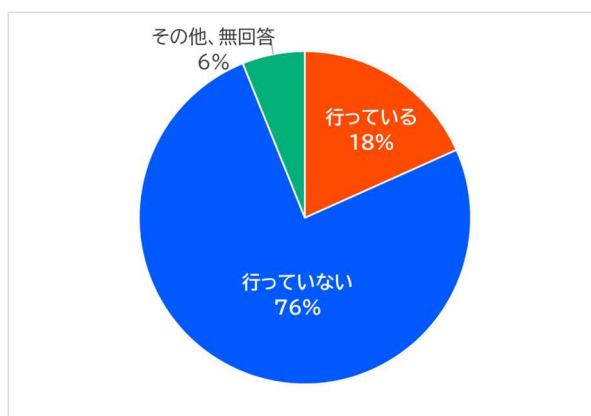
(7)仕事をしているか

している	227
していない	34
無回答	1
計	262



(8)学校に行っているか

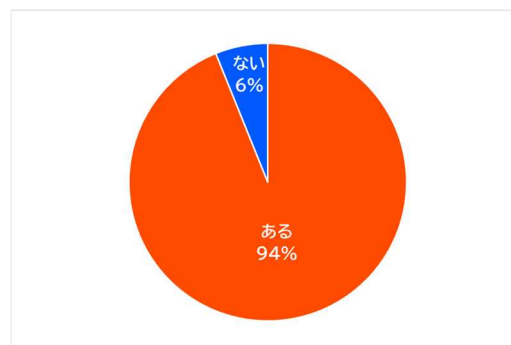
行っている	48
小学校	1
中学校	1
高校	1
短期大学	4
大学	29
専門学校	2
日本語学校	10
行っていない	198
その他	7
無回答	9
計	262



2.1.2 日本語学習について

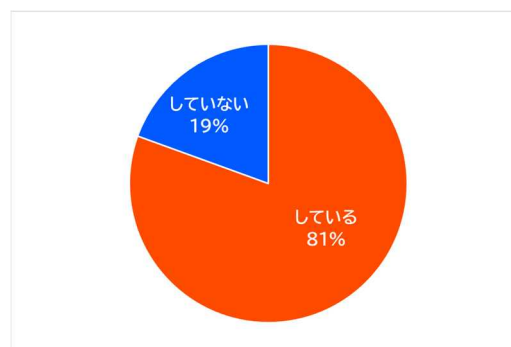
(9)日本語を勉強したことがあるか

ある	246
ない	16
計	262

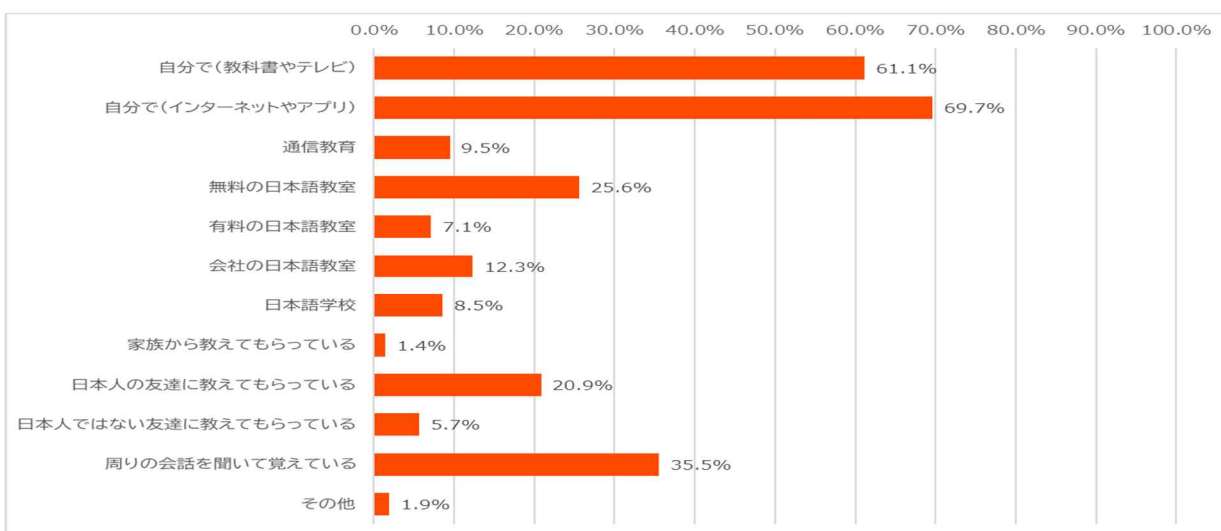


(10)いま日本語を勉強しているか

している	211
していない	51
計	262



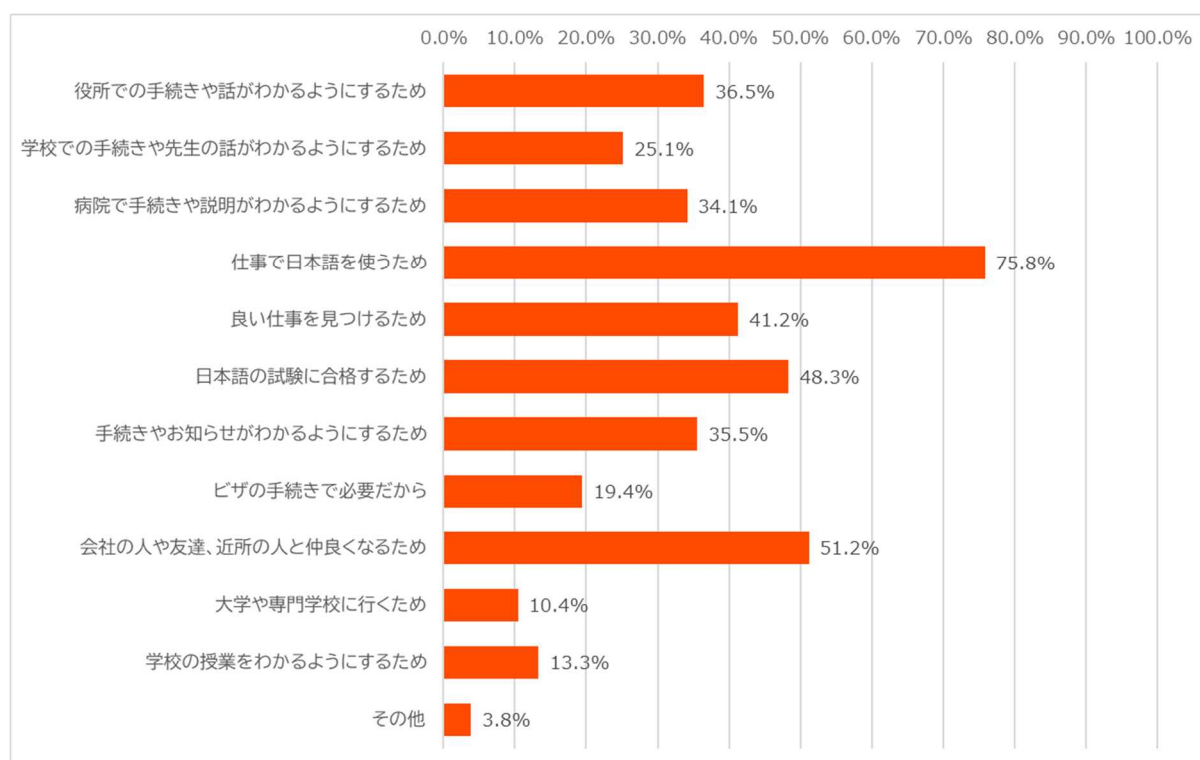
(11)問(10)で「している」と回答した方は、どうやって日本語を勉強しているか(複数回答)(n=211)



自分で(教科書やテレビ)	129	会社の日本語教室	26
自分で(インターネットやアプリ)	147	日本人の友達に教えてもらっている	44
通信教育	20	日本人ではない友達に教えてもらっている	12
無料の日本語教室	54	周りの会話を聞いて覚えている	75
有料の日本語教室	15	日本語学校	18
家族から教えてもらっている	3	その他 ※	4

※ 日本人と話す／大学の日本語授業

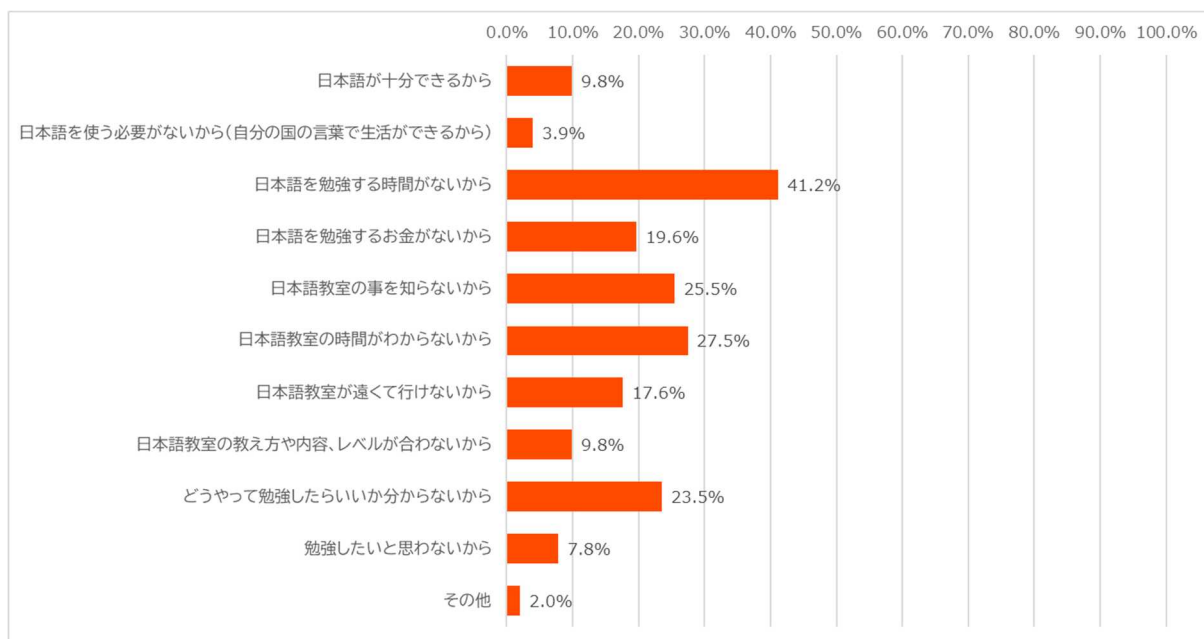
(12)問(10)で「している」と回答した方は、なぜ日本語を勉強しているか(複数回答)(n=211)



役所での手続きや話がわかるようにするため	77	手続きやお知らせがわかるようにするため	75
学校での手続きや先生の話がわかるようにするため	53	ビザの手続きで必要だから	41
病院で手続きや説明がわかるようにするため	72	会社の人や友達、近所の人と仲良くなるため	108
仕事で日本語を使うため	160	大学や専門学校に行くため	22
良い仕事を見つけるため	87	学校の授業をわかるようにするため	28
日本語の試験に合格するため	102	その他 ※	8

※ 人生を支える知識をもっと知りたい／好きだから／Hobby(趣味)／修士課程在学中に日本に滞在する機会を活用し、この2年間で日本語を学びたいと思っています／
日本での生活を楽しむため／日本で暮らすため／歌いたい

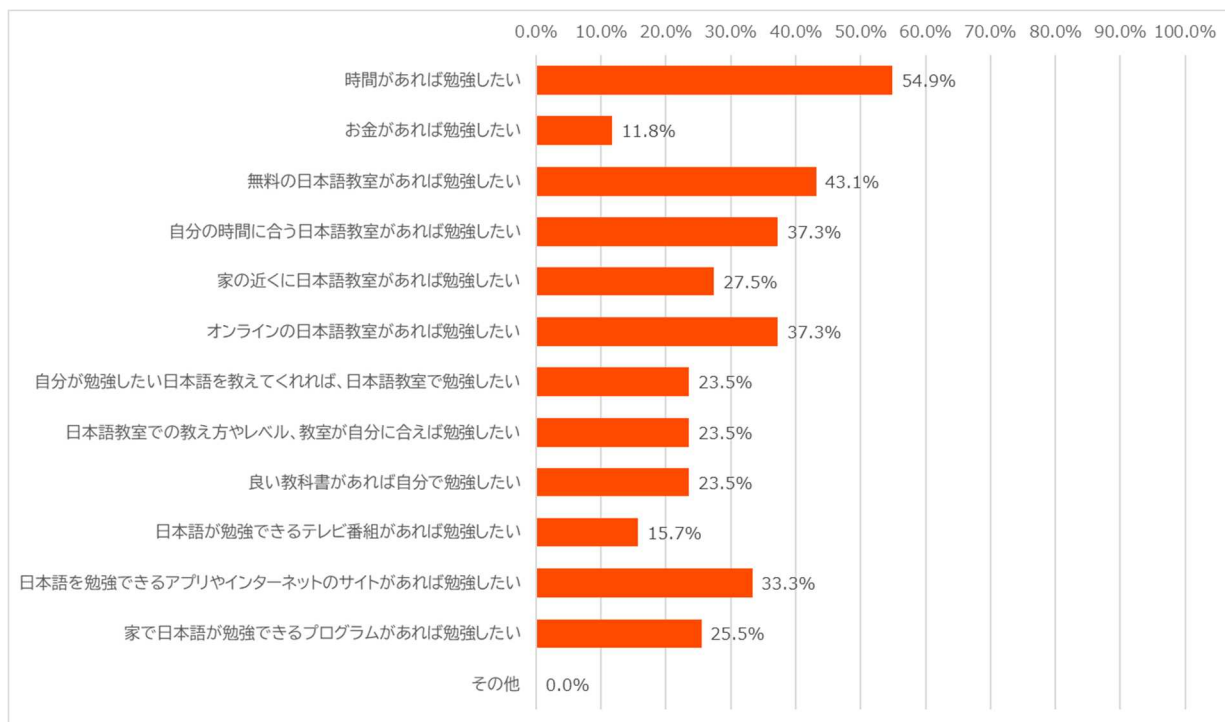
(13)問(10)で「していない」と回答した方は、日本語を勉強していない理由(複数回答)(n=51)



日本語が十分できるから	5	日本語教室が遠くて行けないから	9
日本語を使う必要がないから(自分の国の言葉で生活ができるから)	2	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	5
日本語を勉強する時間がないから	21	どうやって勉強したらいいかわからないから	12
日本語を勉強するお金がないから	10	勉強したいと思わないから	4
日本語教室の事を知らないから	13	その他 ※	1
日本語教室の時間がわからないから	14		

※ N1 を持っていますが、日本語を向上させて、漢字、語彙、ビジネス日本語などを復習したいと思っています

(14)問(10)で「していない」と回答した方は、日本語を勉強したいと思うには、どうすればよいか(複数回答)(n=51)



時間があれば勉強したい	28	日本語教室での教え方やレベル、 教室が自分に合えば勉強したい	12
お金があれば勉強したい	6	良い教科書があれば自分で勉強したい	12
無料の日本語教室があれば勉強したい	22	日本語が勉強できるテレビ番組があれば勉強したい	8
自分の時間に合う日本語教室があれば勉強したい	19	日本語を勉強できるアプリやインターネットの サイトがあれば勉強したい	17
家の近くに日本語教室があれば勉強したい	14	家で日本語が勉強できるプログラムがあれば勉強したい	13
オンラインの日本語教室があれば勉強したい	19	その他	0
自分が勉強したい日本語を教えてくれれば、 日本語教室で勉強したい	12		

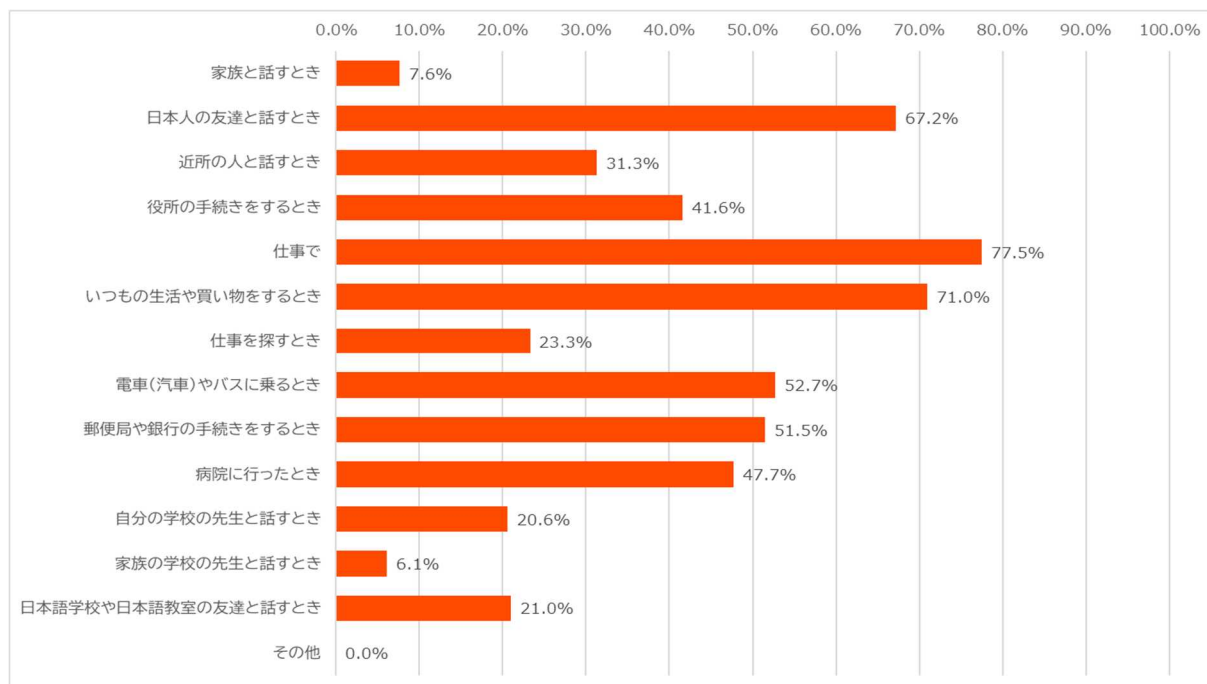
(15)問(10)で「していない」と回答した方は、日本語を勉強したいか(n=51)

したい	46
したくない	5
計	51



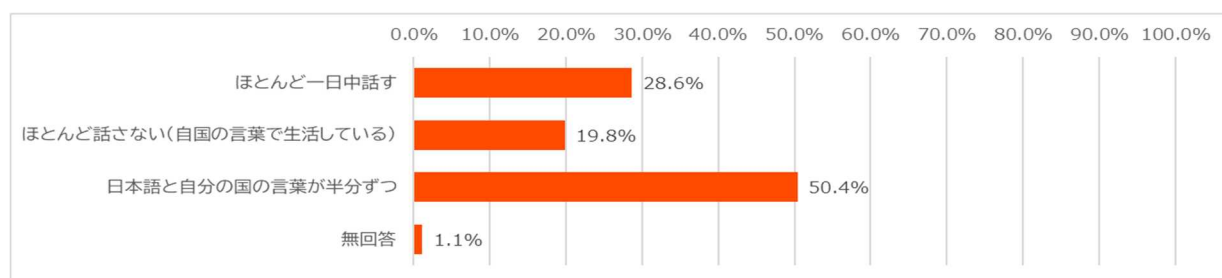
2.1.3 生活での日本語使用について

(16)どのようなときに日本語を使うか(複数回答)(n=262)



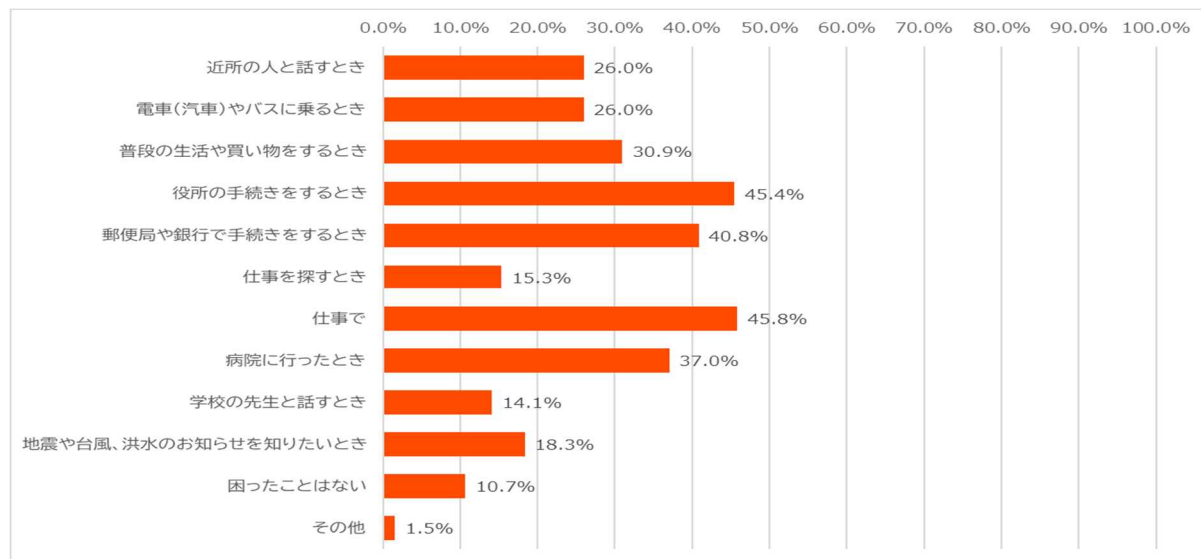
家族と話するとき	20	電車(汽車)やバスに乗るとき	138
日本人の友達と話するとき	176	郵便局や銀行の手続きをするとき	135
近所の人と話するとき	82	病院に行ったとき	125
役所の手続きをするとき	109	自分の学校の先生と話するとき	54
仕事で	203	家族の学校の先生と話するとき	16
いつもの生活や買い物をするとき	186	日本語学校や日本語教室の友達と話するとき	55
仕事を探するとき	61	その他	0

(17)一日にどのくらい日本語を話すか(n=262)



ほとんど一日中話す	75
ほとんど話さない(自国の言葉で生活している)	52
日本語と自分の国の言葉が半分ずつ	132
無回答	3
計	262

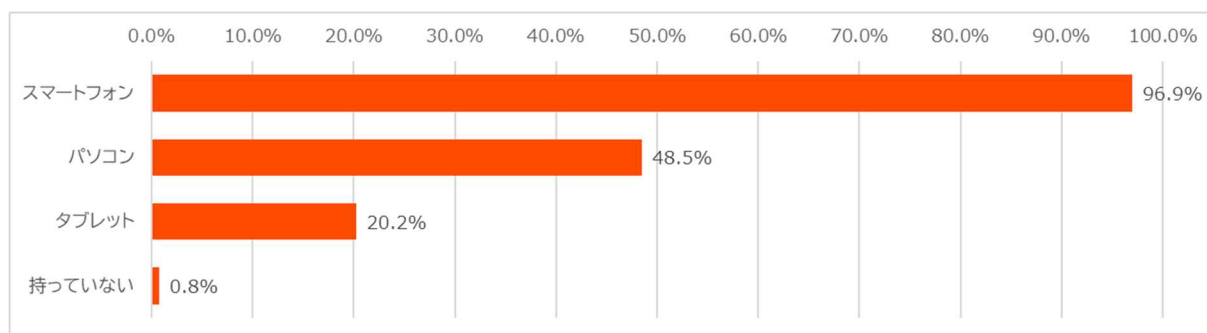
(18)この一年で日本語が使えなくて困ったことはあるか(複数回答)(n=262)



近所の人と話すとき	68	仕事で	120
電車(汽車)やバスに乗るとき	68	病院に行ったとき	97
普段の生活や買い物をするとき	81	学校の先生と話すとき	37
役所の手続きをするとき	119	地震や台風、洪水のお知らせを知りたいとき	48
郵便局や銀行で手続きをするとき	107	困ったことはない	28
仕事を探すとき	40	その他 ※	4

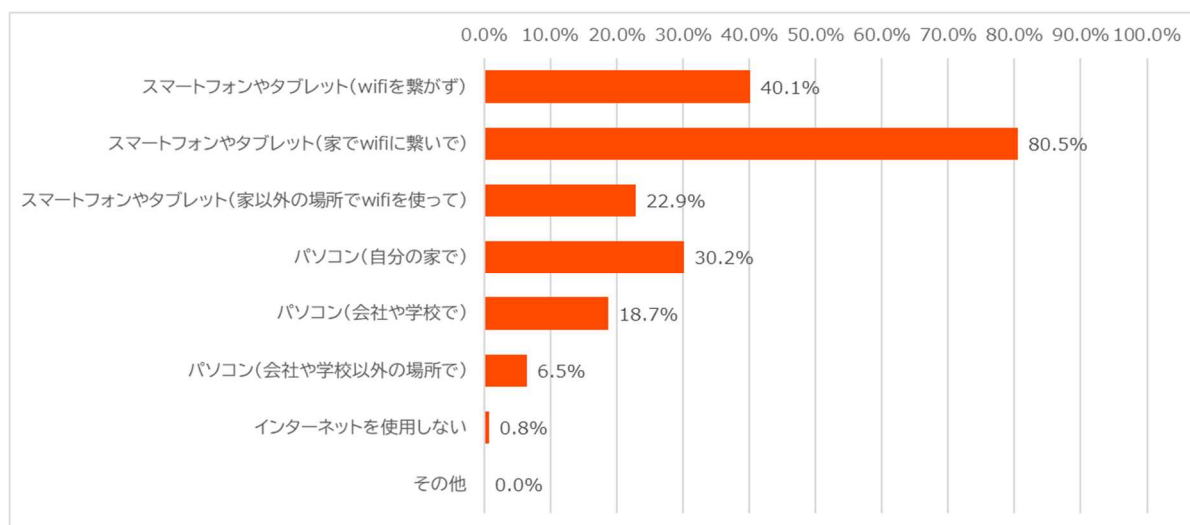
※ 今では日本語を理解し、話すことに慣れ始めています／もっと早く読めるようになりたい／
専門用語

(19)次のものを持っているか(複数回答)(n=262)



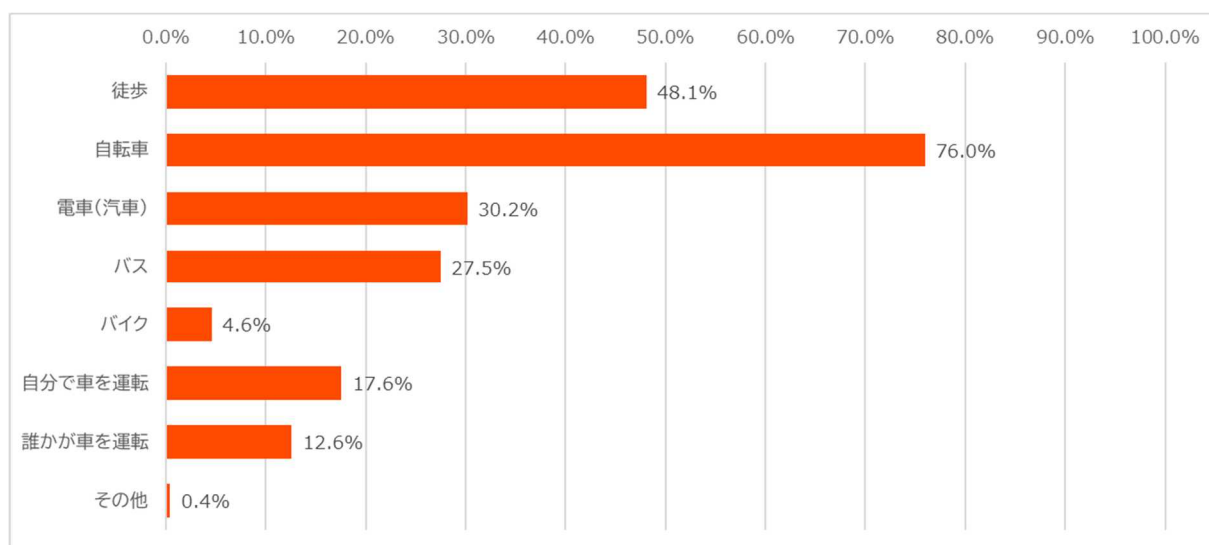
スマートフォン	254
パソコン	127
タブレット	53
持っていない	2

(20)どうやってインターネットを使うか(複数回答)(n=262)



スマートフォンやタブレット (wifi を繋かず)	105	パソコン (会社や学校で)	49
スマートフォンやタブレット (家で wifi に繋いで)	211	パソコン (会社や学校以外の場所で)	17
スマートフォンやタブレット (家以外の場所で wifi を使って)	60	インターネットを使用しない	2
パソコン(自分の家で)	79	その他	0

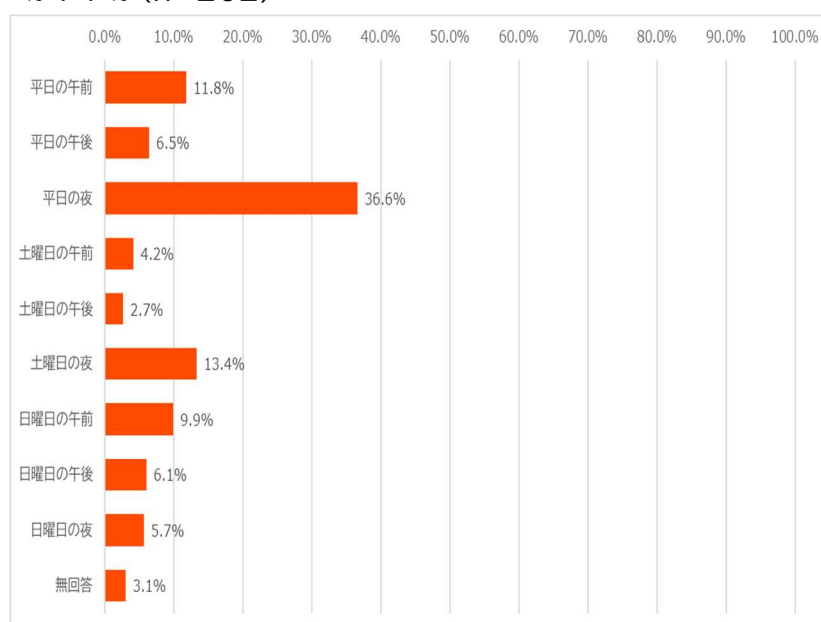
(21)いつもの交通手段(複数回答)(n=262)



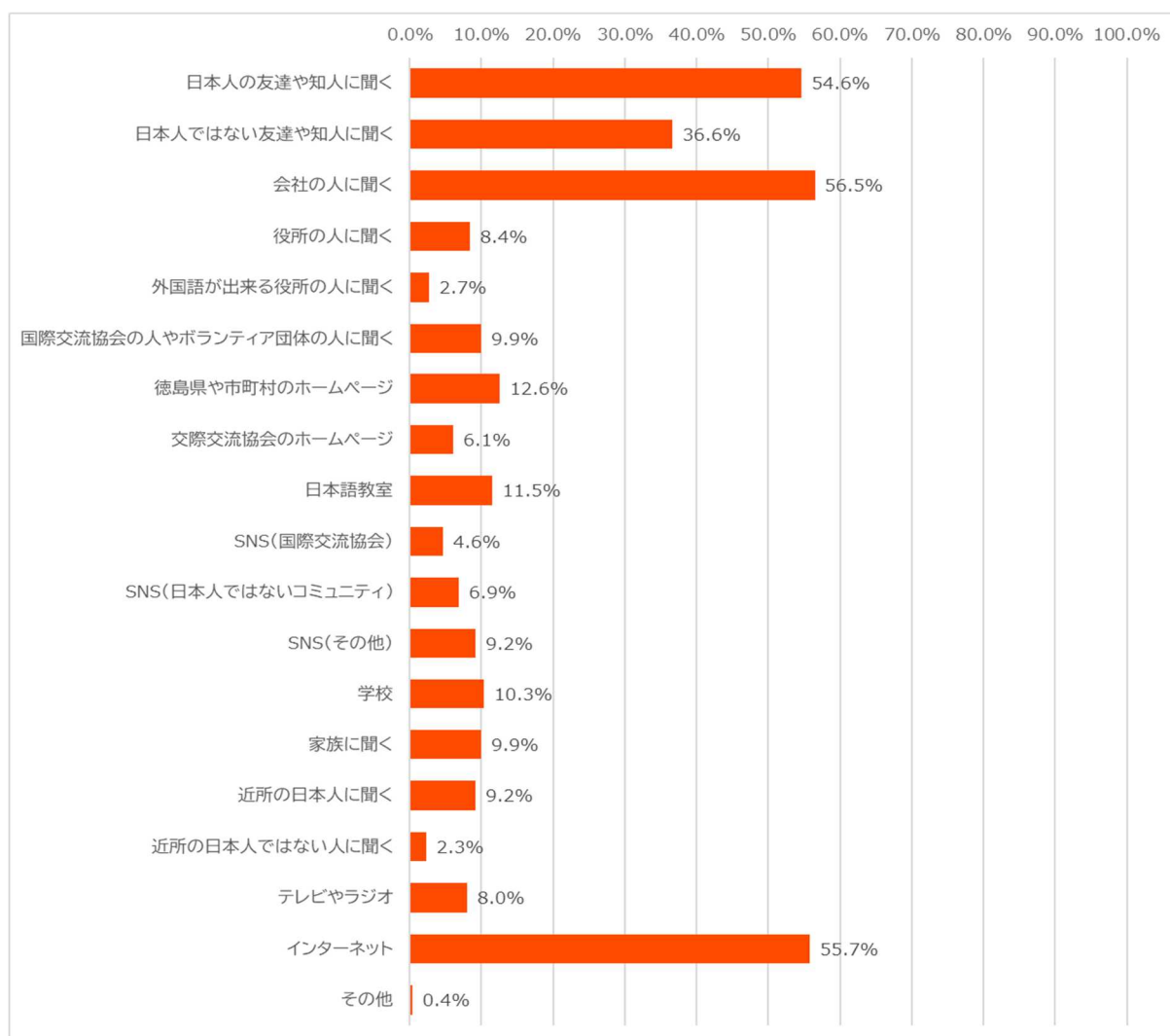
徒歩	126	バイク	12
自転車	199	自分で車を運転	46
電車(汽車)	79	誰かが車を運転	33
バス	72	その他	1

(22)日本語を勉強するならいつがいいか(n=262)

平日の午前	31
平日の午後	17
平日の夜	96
土曜日の午前	11
土曜日の午後	7
土曜日の夜	35
日曜日の午前	26
日曜日の午後	16
日曜日の夜	15
無回答	8
計	262



(23)生活情報はどうやって知っているか(複数回答)(n=262)

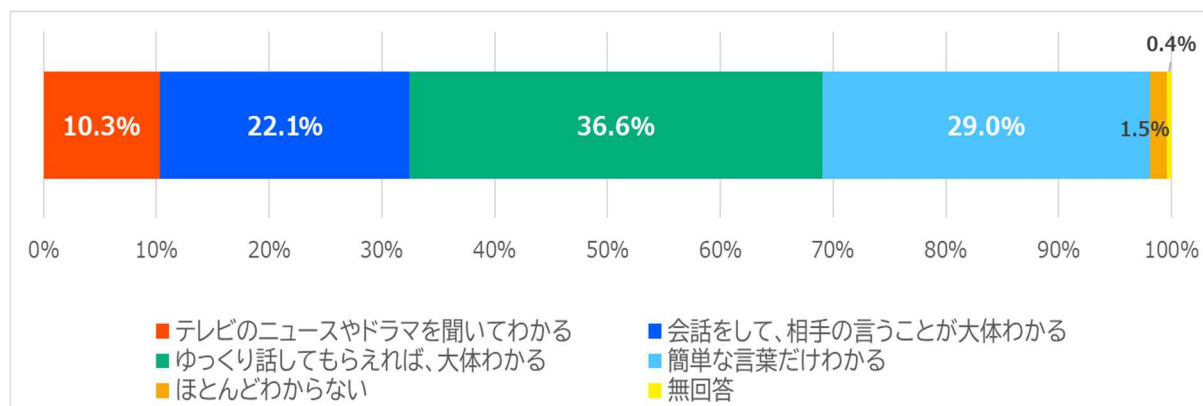


日本人ではない友達や知人に聞く	96	SNS(日本人ではないコミュニティ)	18
日本人の友達や知人に聞く	143	SNS(その他)	24
会社の人に聞く	148	学校	27
役所の人に聞く	22	家族に聞く	26
外国語が出来る役所の人に聞く	7	近所の日本人に聞く	24
国際交流協会の人やボランティア団体の人に聞く	26	近所の日本人ではない人に聞く	6
徳島県や市町村のホームページ	33	テレビやラジオ	21
交際交流協会のホームページ	16	インターネット	146
日本語教室	30	その他 ※	1
SNS(国際交流協会)	12		

※ 大学

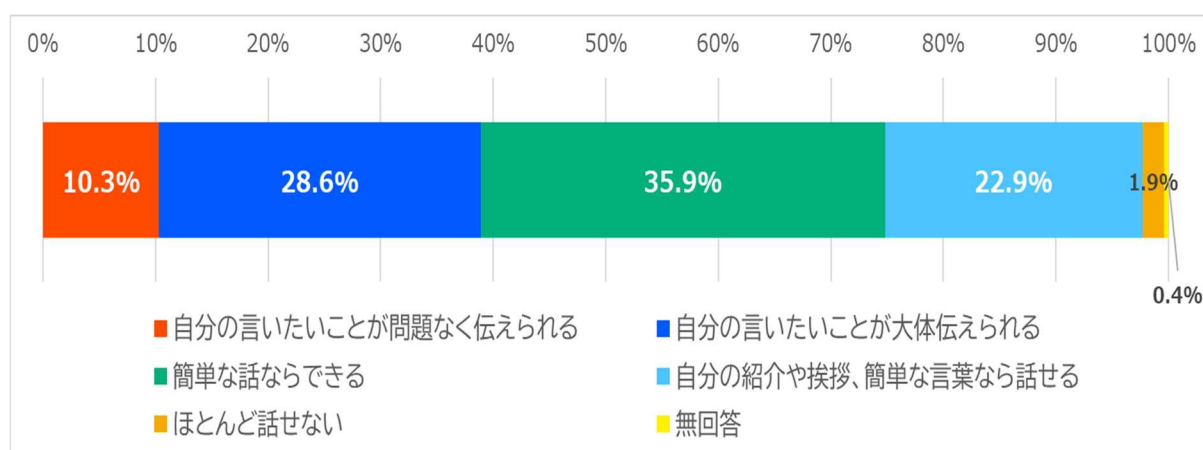
2.1.4 自身の日本語能力について

(24)日本語をどのくらい聞き取れるか(n=262)



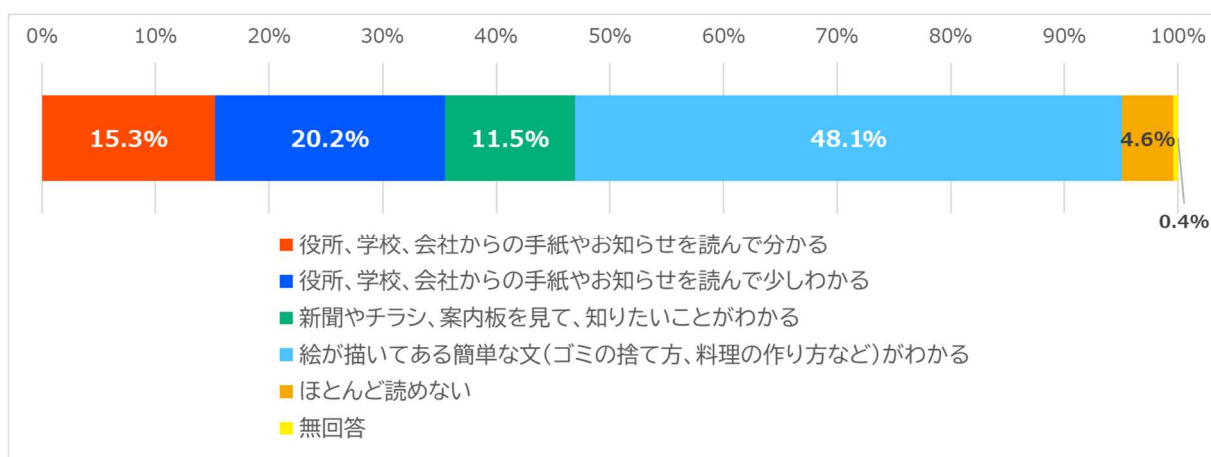
テレビのニュースやドラマを聞いてわかる	27	簡単な言葉だけわかる	76
会話をして、相手の言うことが大体わかる	58	ほとんどわからない	4
ゆっくり話してもらえれば、大体わかる	96	無回答	1
		計	262

(25)日本語をどれくらい話せるか(n=262)



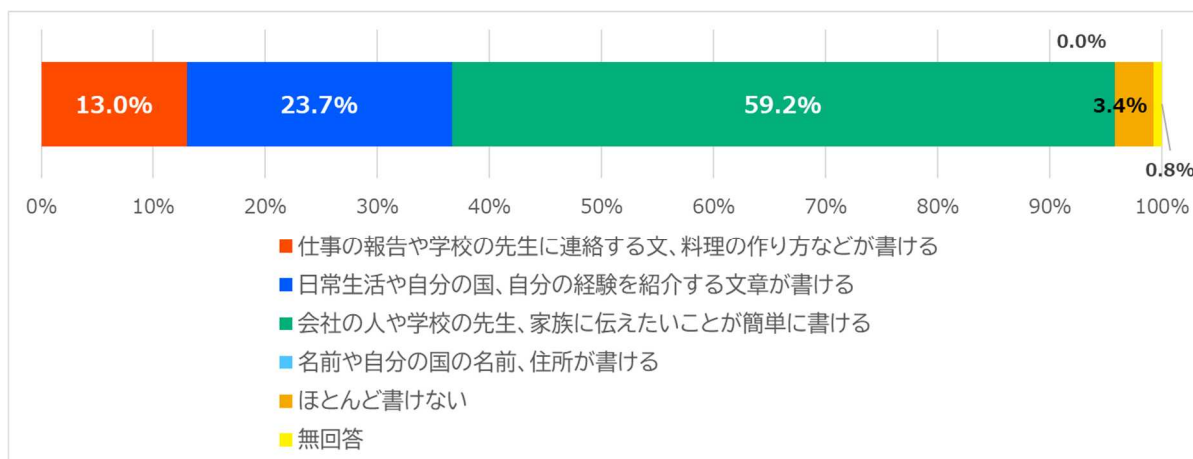
自分の言いたいことが問題なく伝えられる	27	自分の紹介や挨拶、簡単な言葉なら話せる	60
自分の言いたいことが大体伝えられる	75	ほとんど話せない	5
簡単な話ならできる	94	無回答	1
		計	262

(26)日本語をどれくらい読めるか(n=262)



役所、学校、会社からの手紙やお知らせを読んで分かる	40	ほとんど読めない	12
役所、学校、会社からの手紙やお知らせを読んで少しわかる	53	無回答	1
新聞やチラシ、案内板を見て、知りたいことがわかる	30	計	262
絵が描いてある簡単な文(ゴミの捨て方、料理の作り方など)がわかる	126		

(27)日本語をどれくらい書けるか(n=262)



仕事の報告や学校の先生に連絡する文、料理の作り方などが書ける	34	名前や自分の国の名前、住所が書ける	0
日常生活や自分の国、自分の経験を紹介する文章が書ける	62	ほとんど書けない	9
会社の人や学校の先生、家族に伝えたいことが簡単に書ける	155	無回答	2
		計	262

2.1.5 日本語を勉強するために、県にお願いしたいことや言いたいこと(自由記述)

- ・ 日本人との交流会や日本文化の体験プログラムなど催していただければ嬉しいです。
- ・ 日本語能力試験や漢字検定などの語学力試験や免許に補助を出していただきたい。
- ・ 徳島市にボランティアみたい日本語の学校あれば休みの日に勉強しに行きたいです。
- ・ 日本語が出来るようになるためにはどうしたらいいですか？
- ・ 手話学びたい。
- ・ 私の意見では、徳島の留学生や外国人への対応は非常に良く、ここでもとても気遣われていると感じます。ここで日本語を学ぶのに困難を感じたことはありません。
- ・ 日本語があまり話せない人でも仕事があればいいな。
- ・ 無料の日本語学習プログラムがあればいいな。
- ・ 日本人と一緒に会話を学び、流暢に日本語を話せるようになるクラスもあります。
- ・ 徳島で外国人と一緒に日本語講座を開いてください。
- ・ 月に1～2回、無料の日本語クラスを開講してほしい。
- ・ 日本語教室を開いたり、日常語彙を収録した本を提供したりしてください。
- ・ それぞれの出身国で日本語学習の場が提供されるようにしてほしい。
- ・ 日本語学習についてもっと発信して下さい
- ・ 無料の日本語レッスンに参加したいのですが、どこに行けばいいのかわかりません。外国人向けの情報はほとんどなく、日本人に直接聞いても彼らも知りません。日本の学校、災害への備えに関する情報を提供してください。今年は南海トラフの海底地震が起こるようですが、避難場所の情報や災害が起こる前に準備しておくべきものなどがあれば教えてください。
- ・ 体系的なレッスンは私にとって重要です。「地元の人とコミュニケーションをとる」ような集まりではあまり勉強にならないので、文法などを説明してくれる人が必要なんです。
- ・ 日常生活で使えるフレーズの短いリスト - 食料品店や小売店で買いもの、銀行や医者でよく使われるフレーズなど - がほしい。
- ・ 仕事後の午後6時から毎週Zoomクラスを開催していただけると助かります。
- ・ 提供されている授業にとっても感謝しています。以前一度オンライン授業を受けたことがありますが、とても役に立ちました。
- ・ 日本のアニメなど使って教えたら嬉しいです
- ・ 日本語の勉強を手伝っていただけると嬉しいです！もっと日本語を勉強したいのですが、ほとんどのクラスは私のスケジュールに合いません。TIAのクラスにも通おうとしましたが、レベルが簡単すぎたり、難しすぎたりしました。オンラインプログラムや夜間クラスがあれば大変助かります。
- ・ ネイティブのメンターと一緒に日本語を学ぶのはもっと面白くなります。
- ・ 学校との交流、文化交流プログラム、ゲームなどを企画する。
- ・ 没入型の日本体験。
- ・ 日本語クラスについて、詳しい情報を提供してほしい。
- ・ 道路標識や掲示板を英語で表記してほしいと強く願っています。運転中は翻訳機を使うのが困難な場合もあります。特に高速道路や道路沿いのLEDディスプレイに表示される重要なアナウンスは、カメラで見ると点滅してしまうため、翻訳が不可能です。
- ・ ALT向けのクラスはありますか？

- ・ 家でもほとんど英語で話しています。外国人が日本語を学習できるような柔軟なプログラムやスケジュールがあればいいと思います。
- ・ 週末に参加して学べる日本語クラスを用意してください。
- ・ レッスン中に配布資料や教材も提供されますか？もしある場合、自宅で持ち帰って再度学習することは可能でしょうか？
- ・ 私が住んでいる都市に日本語教室があればいいのと思います。
- ・ もっと日本語を学びたいです。
- ・ 地域で無料の日本語教室を見つけたいです。
- ・ 私は日本政府に、外国人がもっと広く、一般的に日本語を学べる環境を整えてほしいと思います。
- ・ 方言について学びたい。
- ・ まずは自分で読み書きを練習し、その後で日本人の友達と一緒に練習する必要があります。
- ・ 外国人に興味のある日本人と出会う手段を提供してほしい。日本人とのコミュニケーションを日常生活に取り入れることでのみ、会話力を向上させることができます。
- ・ 可能であれば集中的なトレーニング。
- ・ アルバイトや面接のために日本語を勉強したいです。
- ・ 中級・上級の日本語(文法、聴解)の教室を希望します。
- ・ 私の住んでいるところの近くに日本語を学べる場所があればいいと思います。
- ・ 日本語を学ぶための体系的な方法を提供したり、外国人が日本語を学ぶためのコミュニケーション活動をしたり、翻訳機などのテクノロジーの利用を増やしたりすることができます。海外にいるとき、言語コミュニケーションは非常に重要です。例えば、病院に行ったとき、自分の状態を正確に伝えることが難しく、医師も理解しにくく、とても困りました。

2.2 外国人を雇用する企業

(1)有効回答数

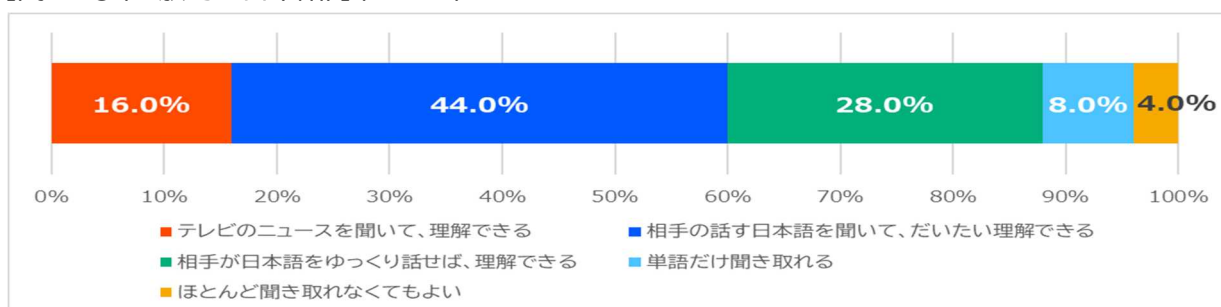
25

(2)調査方法

令和6年度徳島県外国人雇用実態調査の回答者のうち、外国人を雇用していて、
情報提供可と回答のあった企業にアンケートへの回答を依頼(80社)

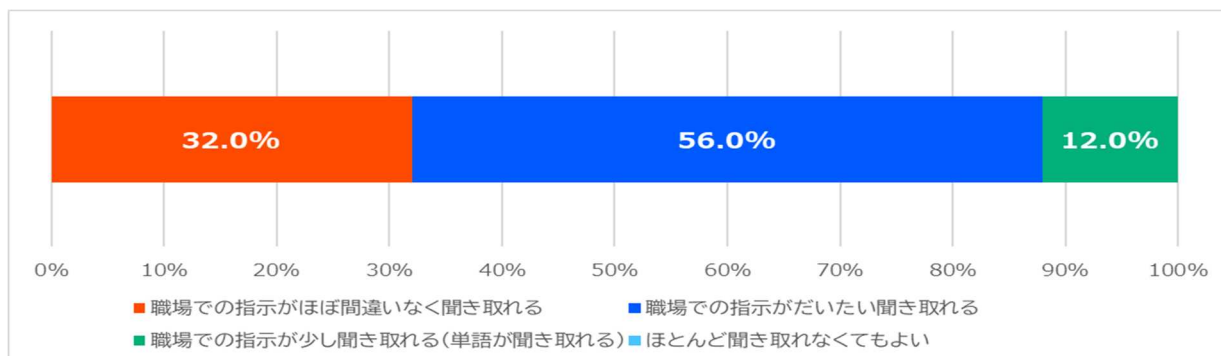
(1)自社で働く外国人に求める日本語能力について

【聞く ①(一般的な日本語)】(n=25)



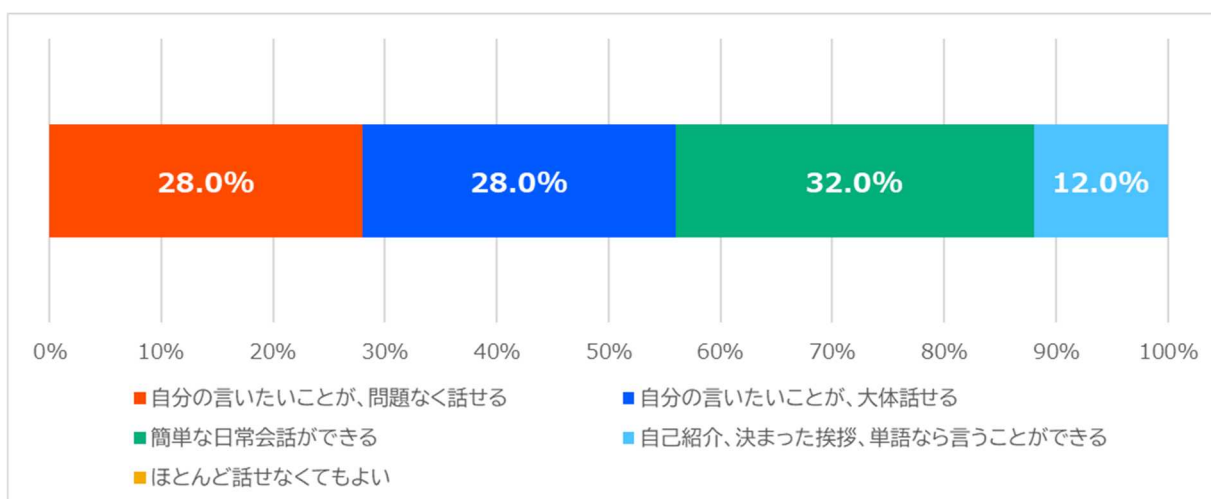
テレビのニュースを聞いて、理解できる	4
相手の話す日本語を聞いて、だいたい理解できる	11
相手が日本語をゆっくり話せば、理解できる	7
単語だけ聞き取れる	2
ほとんど聞き取れなくてもよい	1
計	25

【聞く ②(職場での日本語)】(n=25)



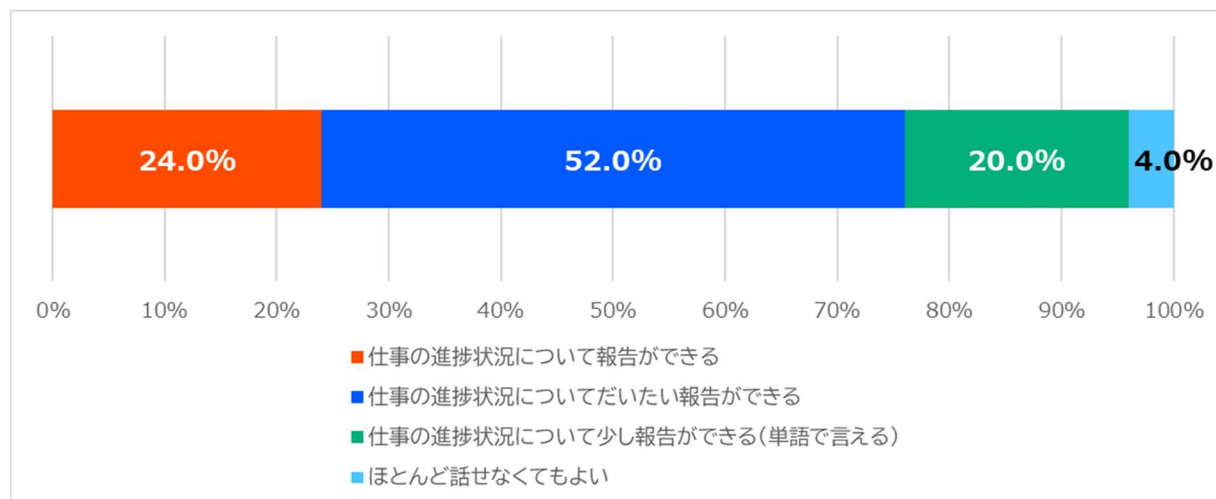
職場での指示がほぼ間違いなく聞き取れる	8
職場での指示がだいたい聞き取れる	14
職場での指示が少し聞き取れる(単語が聞き取れる)	3
ほとんど聞き取れなくてもよい	0
計	25

【話す ①(一般的な日本語)】(n=25)



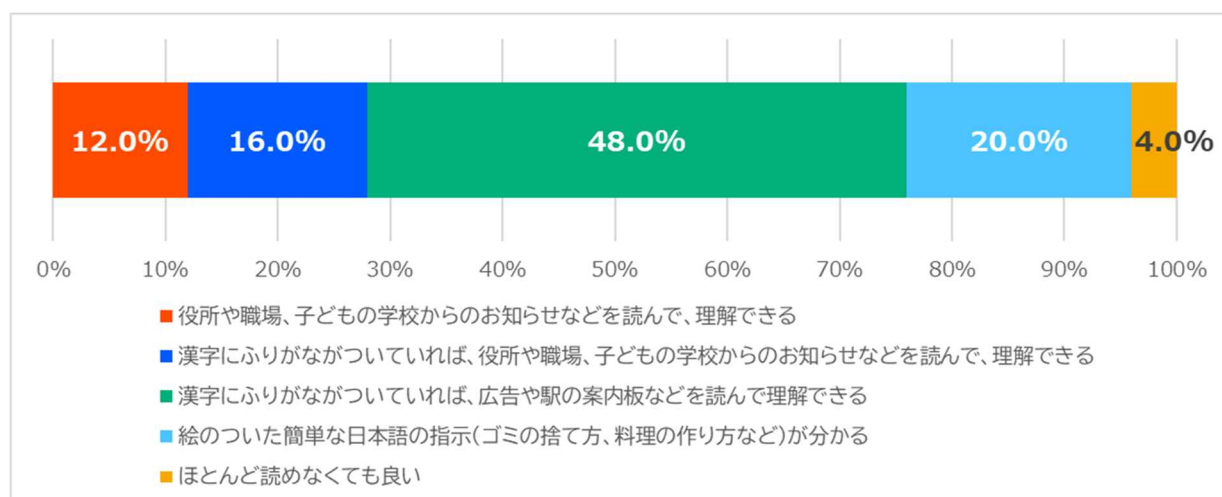
自分の言いたいことが、問題なく話せる	7
自分の言いたいことが、大体話せる	7
簡単な日常会話ができる	8
自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	3
ほとんど話せなくてもよい	0
計	25

【話す ②(職場での日本語)】(n=25)



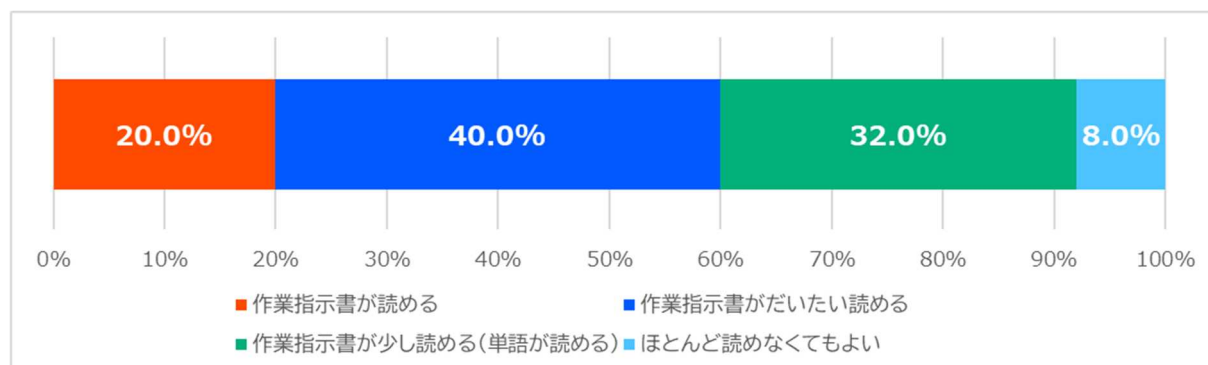
仕事の進捗状況について報告ができる	6
仕事の進捗状況についてだいたい報告ができる	13
仕事の進捗状況について少し報告ができる(単語で言える)	5
ほとんど話せなくてもよい	1
計	25

【読む ①(一般的な日本語)】(n=25)



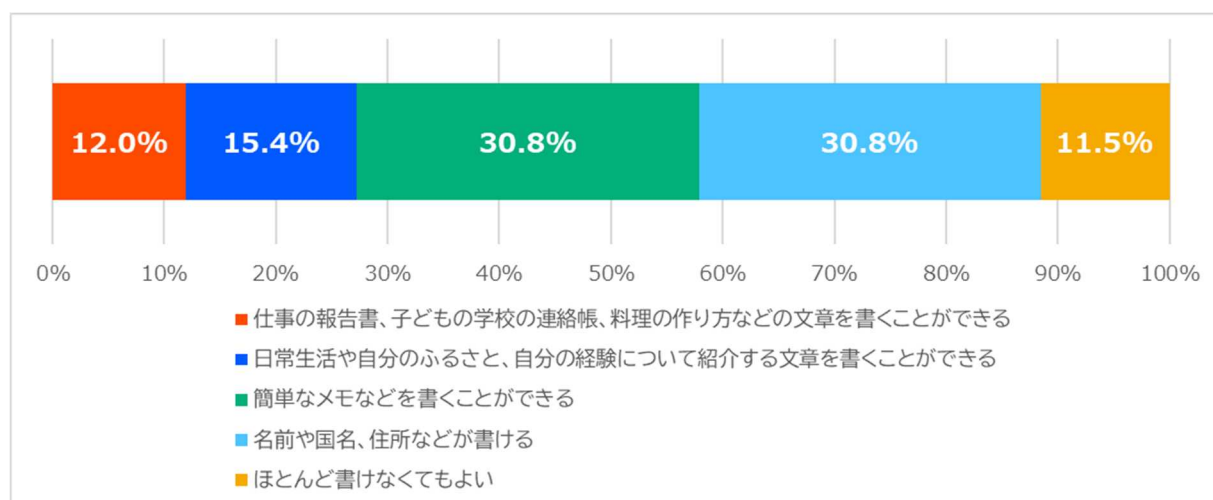
役所や職場、子どもの学校からのお知らせなどを読んで、理解できる	3
漢字にふりがながついていれば、役所や職場、子どもの学校からのお知らせなどを 読んで、理解できる	4
漢字にふりがながついていれば、広告や駅の案内板などを読んで理解できる	12
絵のついた簡単な日本語の指示(ゴミの捨て方、料理の作り方など)が分かる	5
ほとんど読めなくても良い	1
計	25

【読む ②(職場での日本語)】(n=25)



作業指示書が読める	5
作業指示書がだいたい読める	10
作業指示書が少し読める(単語が読める)	8
ほとんど読めなくてもよい	2
計	25

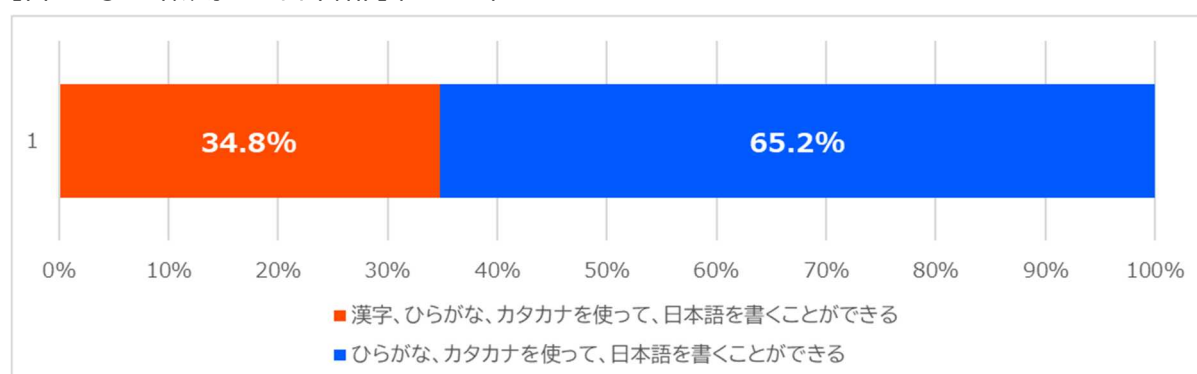
【書く ①(一般的な日本語)】(n=26 ※一部複数回答)



仕事の報告書、子どもの学校の連絡帳、料理の作り方などの文章を書くことができる	3
日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	4
簡単なメモなどを書くことができる	8
名前や国名、住所などが書ける	8
ほとんど書けなくてもよい	3
計（一部複数回答した企業あり）	26

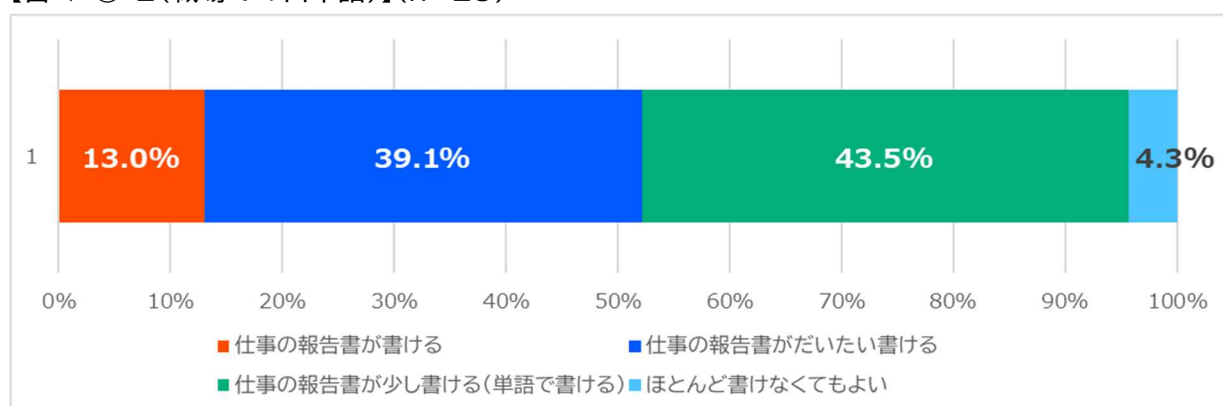
上の問いで、「ほとんど書けなくてもよい」以外と回答した方は、外国人従業員にどのレベルの書く能力を求めるか

【書く ②-1(職場での日本語)】(n=23)



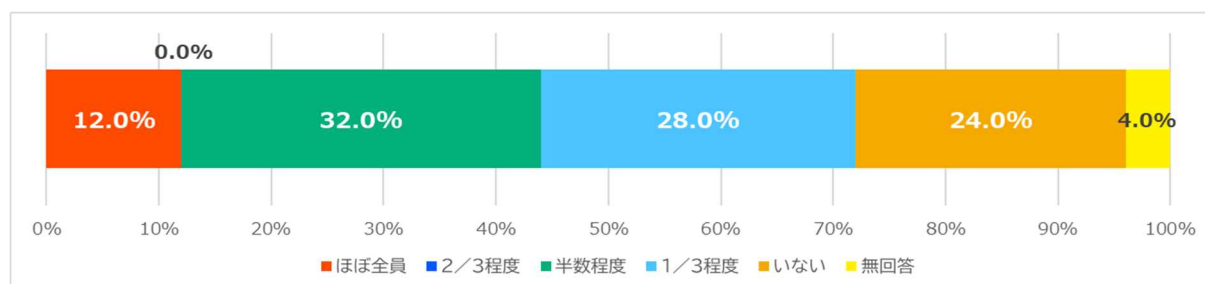
漢字、ひらがな、カタカナを使って、日本語を書くことができる	8
ひらがな、カタカナを使って、日本語を書くことができる	15
計	23

【書く ②-2(職場での日本語)】(n=23)



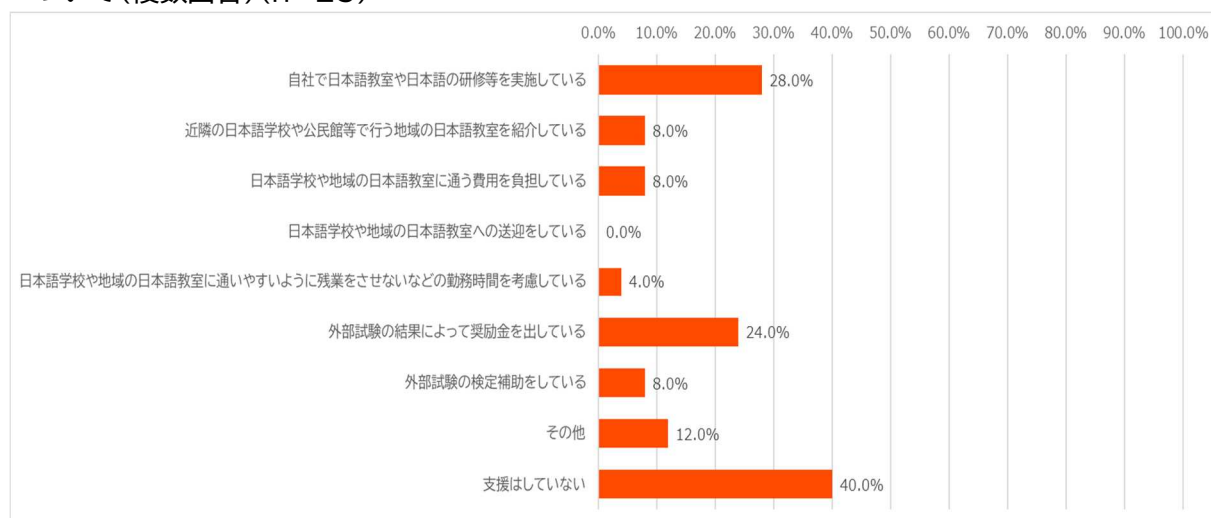
仕事の報告書が書ける	3
仕事の報告書がだいたい書ける	9
仕事の報告書が少し書ける(単語で書ける)	10
ほとんど書けなくてもよい	1
計	23

(2) 自社で働く外国人のうち、求める日本語能力に届いていない人の割合について(n=25)



ほぼ全員	3
2/3程度	0
半数程度	8
1/3程度	7
いない	6
無回答	1
計	25

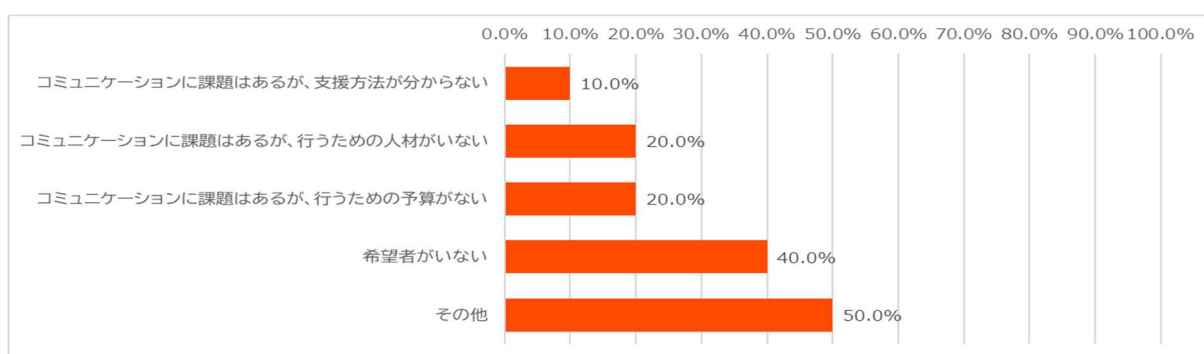
(3) 自社で働く外国人のうち、求める日本語能力に届いていない人に対しての日本語学習支援について(複数回答)(n=25)



自社で日本語教室や日本語の研修等を実施している	7
近隣の日本語学校や公民館等で行う地域の日本語教室を紹介している	2
日本語学校や地域の日本語教室に通う費用を負担している	2
日本語学校や地域の日本語教室への送迎をしている	0
日本語学校や地域の日本語教室に通いやすいように残業をさせないなどの勤務時間を考慮している	1
外部試験の結果によって奨励金を出している	6
外部試験の検定補助をしている	2
その他 ※	3
支援はしていない	10

※ 参考書等の購入費補助

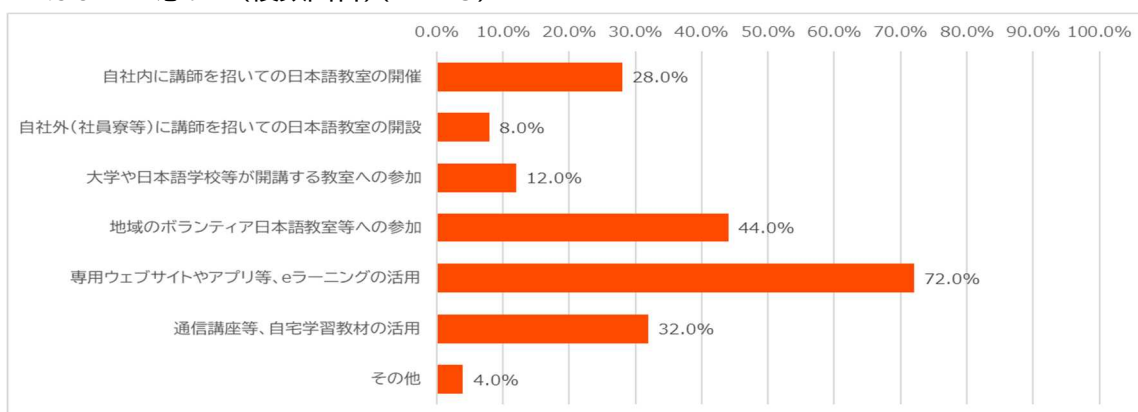
(4)問(3)で「支援はしていない」と回答したその理由(複数回答)(n=10)



コミュニケーションに課題はあるが、支援方法が分からない	1
コミュニケーションに課題はあるが、行うための人材がない	2
コミュニケーションに課題はあるが、行うための予算がない	2
希望者がいない	4
その他 ※	5

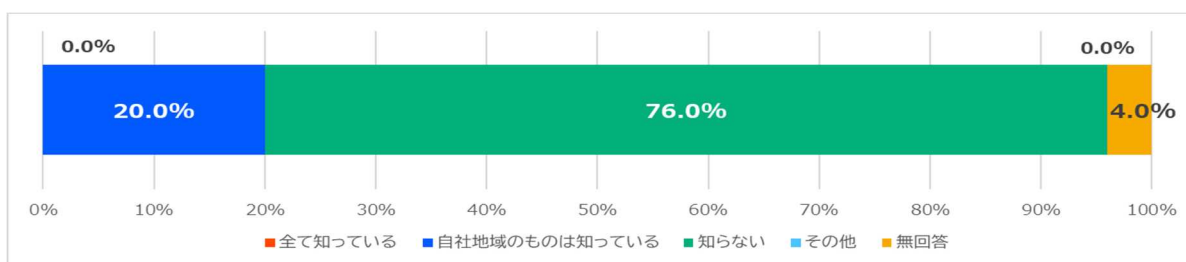
※ 特定技能者として来日前に一定程度の日本語教育を受けており OJT が実質の支援と
考えている / 翻訳機を使用して会話を実施しているため

(5)今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていく場合、どのような形態の学習機会があればよいと思うか(複数回答)(n=25)



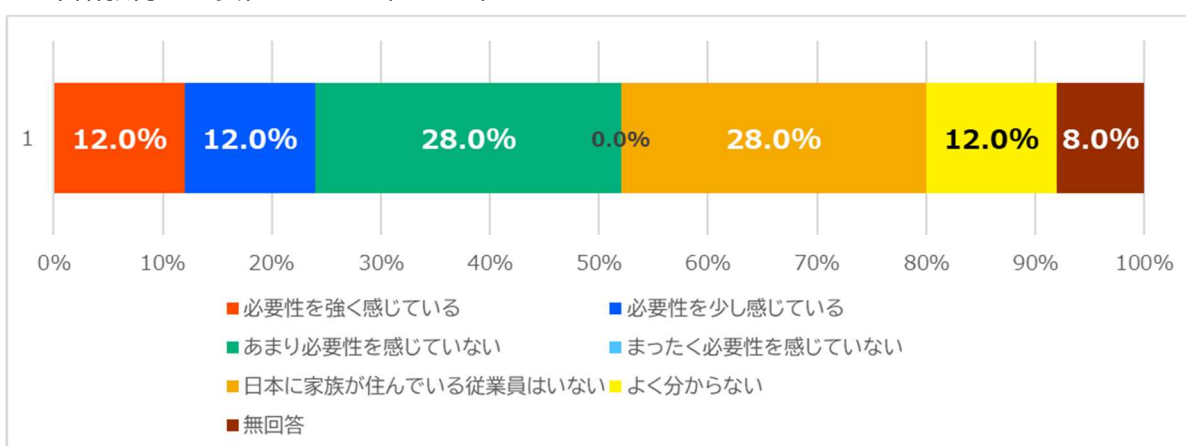
自社内に講師を招いての日本語教室の開催	7
自社外(社員寮等)に講師を招いての日本語教室の開設	2
大学や日本語学校等が開講する教室への参加	3
地域のボランティア日本語教室等への参加	11
専用ウェブサイトやアプリ等、e ラーニングの活用	18
通信講座等、自宅学習教材の活用	8
その他	1

(6) 県内14箇所に開設している地域日本語教室について知っているか(複数回答)(n=25)



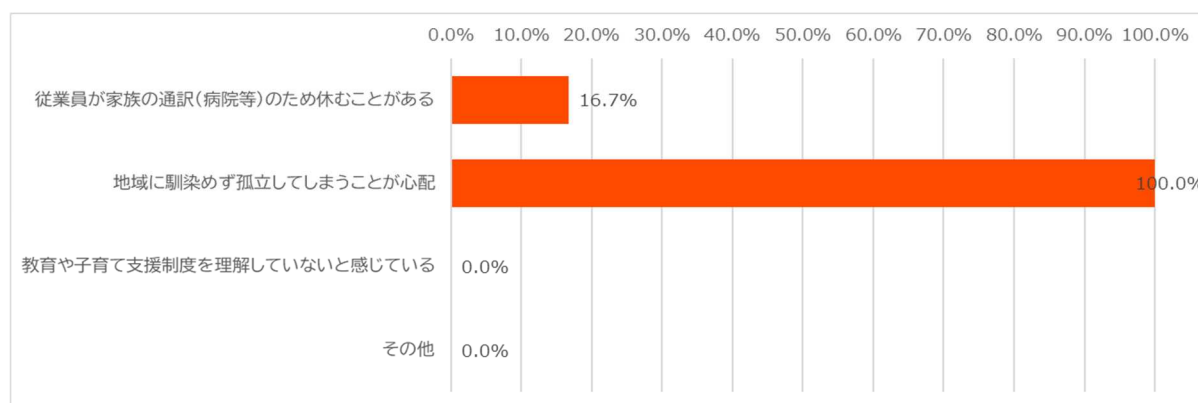
全て知っている	0
自社地域のものは知っている	5
知らない	19
その他	0
無回答	1

(7) 日本語でのコミュニケーションが困難な外国人従業員の家族(外国人配偶者や子)を対象とした日本語教育の必要性について(n=25)



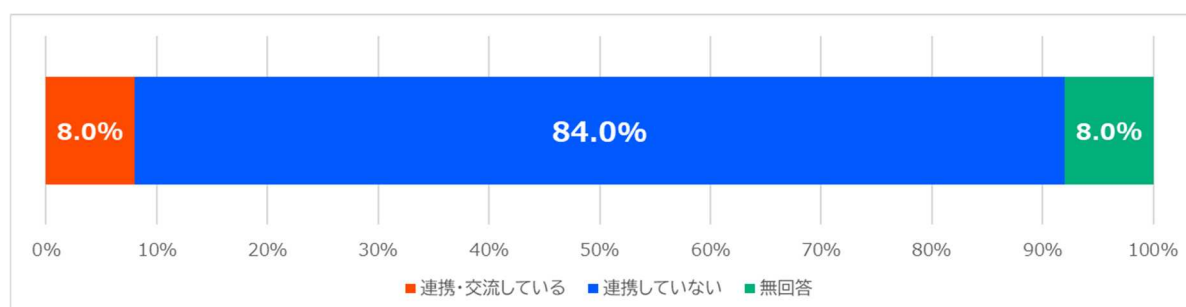
必要性を強く感じている	3
必要性を少し感じている	3
あまり必要性を感じていない	7
まったく必要性を感じていない	0
日本に家族が住んでいる従業員はいない	7
よく分からない	3
無回答	2
計	25

(8)問(7)で「必要性を強く感じている」又は「少し感じている」を回答した理由(複数回答)(n=6)



従業員が家族の通訳(病院等)のため休むことがある	1
地域に馴染めず孤立してしまうことが心配	6
教育や子育て支援制度を理解していないと感じている	0
その他	0

(9)日本語教育に関して、他の団体と連携、交流は行っているか(n=25)

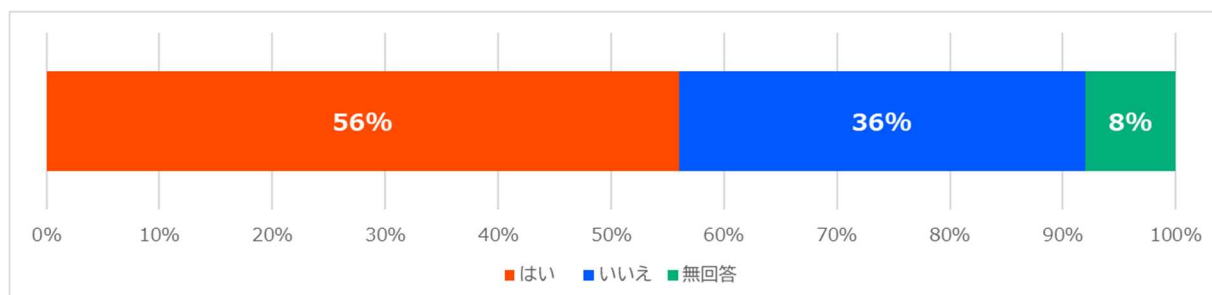


連携・交流している ※	2
連携していない	21
無回答	2
計	25

※ (連携・交流先)公益財団法人高知県国際交流協会

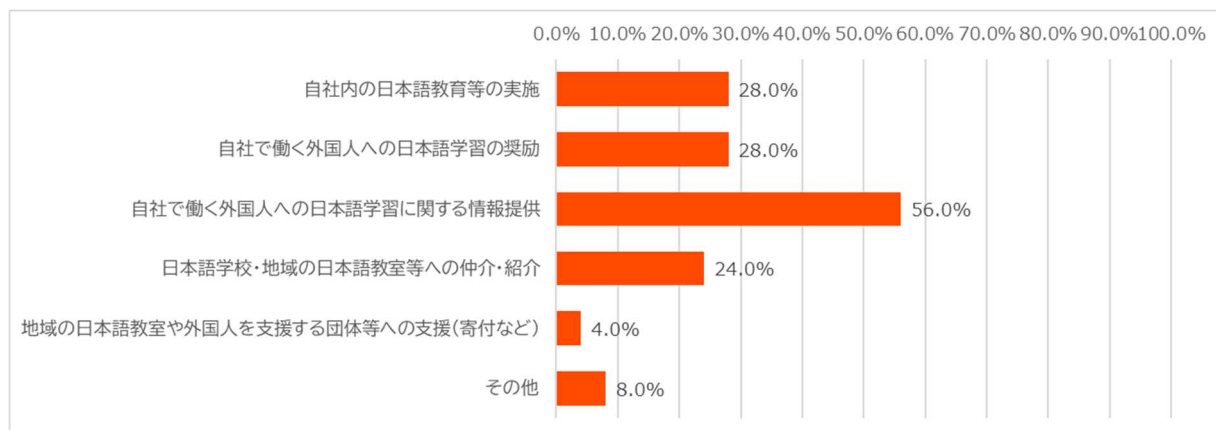
(連携・交流内容)日本語サロン、料理教室など

(10)日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと考えるか、またその理由
(n=25)



はい	14
理由:	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社のある県では現在進行形で活用しており、徳島でも機会があれば活用したい ・ 社会的には日本語教育を受けてもらいたい業務外の事は本人の意思 ・ 会社では日常会話をすることが少ないため ・ 自社内では他交流や情報交流できる機会がなかなかとることができない為 ・ 日本語が上手になれば事故や事件に巻き込まれたときに状況説明が出来る ・ 仕事を円滑に進めるために必要。以前、「大きい」と「小さい」の作業指示を間違えて理解していたため、仕事に支障が出た 	
いいえ	9
理由:	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では必要性を感じない ・ 対象者が県外(営業所)にも点存、かつ個々に母国も違うため対応に課題が残る ・ 現在お願いしている日本語講師の先生がおり、満足しているため ・ 毎月1回勉強会実施している 	
無回答	2
計	25

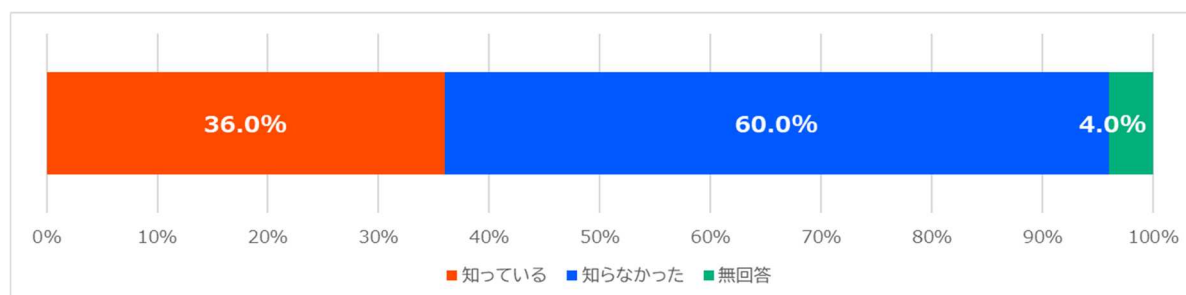
(11)外国人が働く企業として、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきと考えるか(複数回答)(n=25)



自社内の日本語教育等の実施	7
自社で働く外国人への日本語学習の奨励	7
自社で働く外国人への日本語学習に関する情報提供	14
日本語学校・地域の日本語教室等への仲介・紹介	6
地域の日本語教室や外国人を支援する団体等への支援(寄付など)	1
その他 ※	2

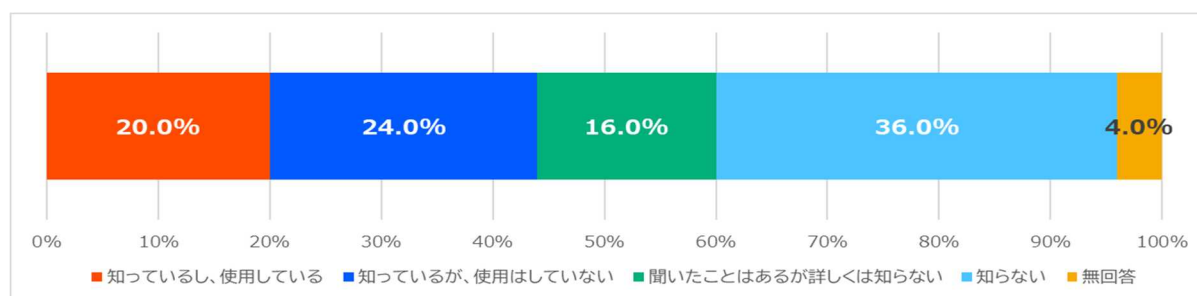
※ 日本人とのコミュニケーション機会の拡大

(12)国の法律「日本語教育推進法」において、事業主は雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努めるものとする定められていることを知っているか(n=25)



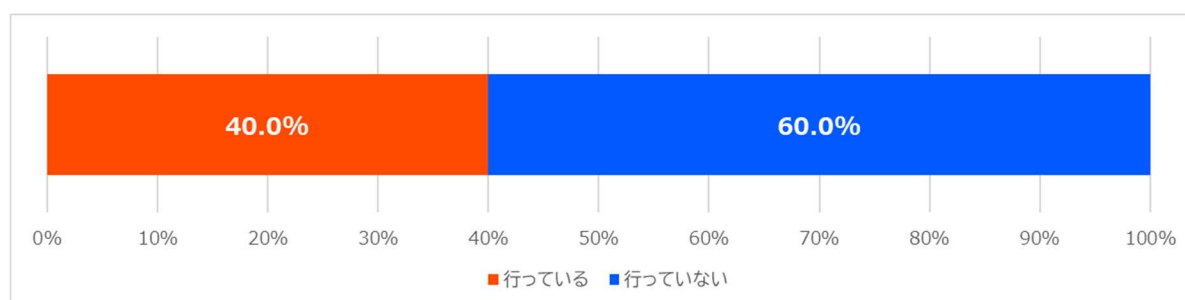
知っている	9
知らなかった	15
無回答	1
計	25

(13)「やさしい日本語」という言葉を知っているか(n=25)



知っているし、使用している	5
知っているが、使用はしていない	6
聞いたことはあるが詳しくは知らない	4
知らない	9
無回答	1
計	25

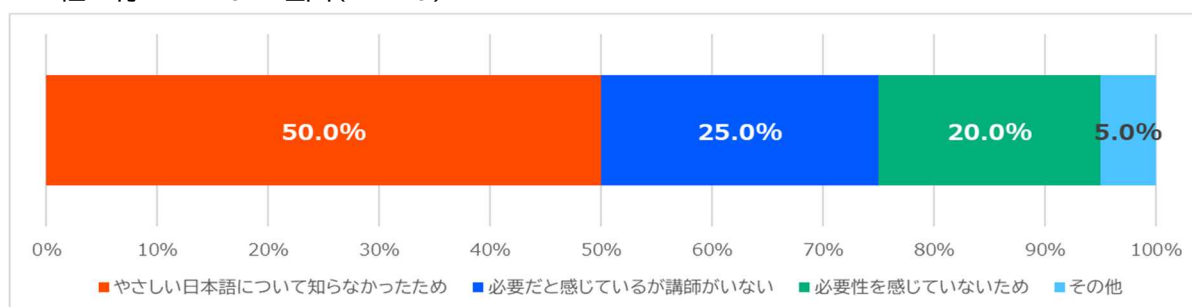
(14)問(13)で「知っているし、使用している」と回答した方は、どのようなやさしい日本語に関する研修や取組を行っているか(n=5)



行っている ※	2
行っていない	3
計	5

※ (取組)やさしい日本語を心掛けるように指導している

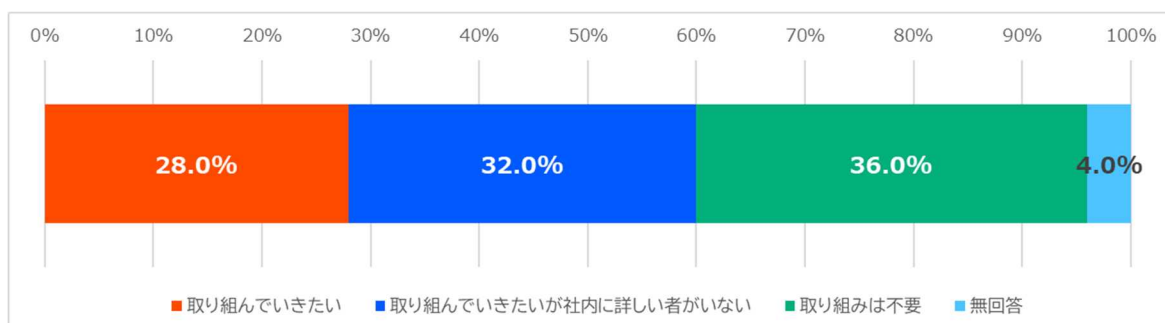
(15)問(13)で「知っているし、使用している」以外と回答した方は、やさしい日本語に関する研修や取組を行っていない理由(n=20)



やさしい日本語について知らなかったため	10
必要だと感じているが講師がいない	5
必要性を感じていないため	4
その他 ※	1
計	20

※ 指導者は非常に分かり易く説明していること、また、通訳や ChatGPT で取説を翻訳している

(16)今後、やさしい日本語に関する取組(社内研修、業務上での使用など)を行っていきたいか (n=25)



取り組んでいきたい	7
取り組んでいきたいが社内に詳しい者がいない	8
内容： ・日常会話ができるようになっていきたい	
取り組みは不要	9
無回答	1
計	25

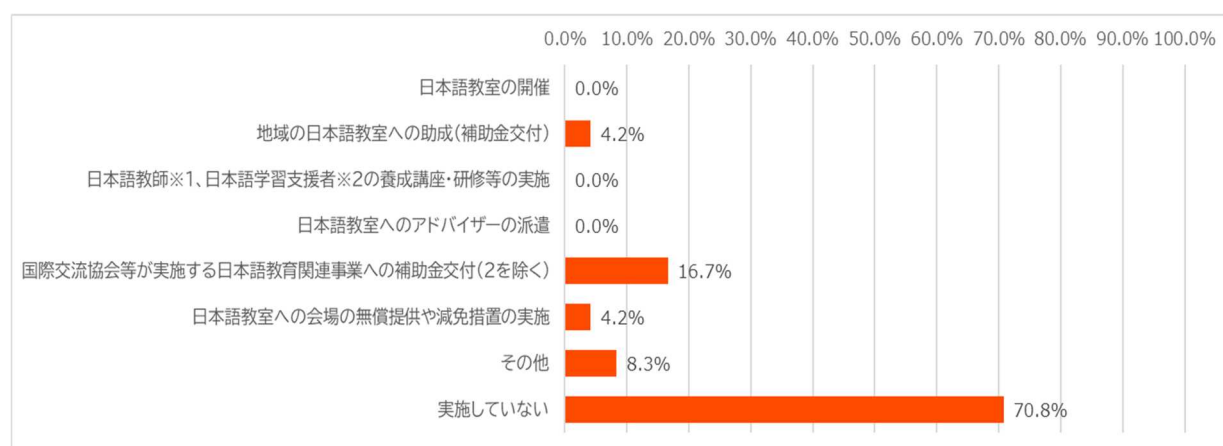
(17)その他、日本語教育事業に関する県に対してのご意見・ご提案

- ・ 日本語教育に関する好事例の紹介をお願いします。
- ・ 日本語教育に関する補助・支援を継続・充実させていただきたいです。
- ・ 書くことの向上について教えていただきたいです。
- ・ 弊社では現状、複数の国より来られた方が、各営業所で点在して勤務している関係上、社内でまとめたアクションは対応しづらい。また現状、現場からも彼らの日本語能力についての問題点を指摘する声もなく大きな課題とは認識していない。企業内の外国人に対する日本語教育については、「本人/家族」が、自らの必要に応じて「自主的に参加」できる「公共の学び場」や、「e ラーニング」の案内(情報)を企業が受け、企業側で対象者の特性・日本語能力を判断し、本人に紹介(つなぐ)するスタイルが、企業側や本人の負担感も少なく、好ましいと考えます。
- ・ 体調不良時に医師から質問される言葉が外国人には難しい。(ズキズキ・ビリビリ・シクシク等)日本語特有の言葉を、どう説明したら良いのか参考資料などがあればご教示頂きたいと思います。
- ・ 工場内での日本語教育は、実務に関わる必要最低限のレベルではありますが、監理団体のスタッフの方(日本語に精通している現地人)が隣接するグループ会社に常駐しており、2 社合同で様々な教育活動を実施して頂いております。
- ・ 「やさしい日本語」は大事だと思った。知る機会がなかったのが問題である。教えてもらう機会があればいい。
- ・ 日本語教育は、県や市町村が公共サービスの一環として担って欲しい。日本人の就労支援に対しては、職業訓練メニューが提供されている。(ハローワーク等で提供している訓練)。外国人も日本の労働者であり、労働者がスキルアップするための機会を公的に提供してくれることを求める。
- ・ 組合に対して、日本語教育の支援を行って欲しい要望がある。実習生一人あたり 3 万円を支払っている。派遣前、来日時講習も十分に受けずに来た人材の質は低い。雇用主の中には、監理団体に怒りを感じ、日本語教育を提供させているところもある。
- ・ 外国の送り出し機関でもう少し日本語の勉強をしっかりとしてほしい。昔はよく話しが出来ていたが、最近は日本にきてても勉強をしない子が多い。必要性が無いからだと思います。昔だと N4、N3 をとると帰国して優遇されていましたが、現在はそこまででは無いのだと思います。
- ・ 正直、40 人実習生がいますが通訳なしでたいへんです。しかし人材確保のためにしかたないです。今後、実習生は帰国してのメリットを言っても勉強はさほどしないと思います。

2.3 市町村

調査対象	県内24市町村
回答数	24
調査項目	市町村における日本語教育の取り組み状況、国際交流団体等との連携状況、日本語教育に関する課題及びニーズ
調査方法	メールによるアンケート配布・回収
調査期間	令和6年11月19日～12月10日

(1)令和6年度に、日本語教育に関し、どのような事業(市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される生徒向けの事業は除く)を実施(予定を含む)するか(複数回答)(N=24)



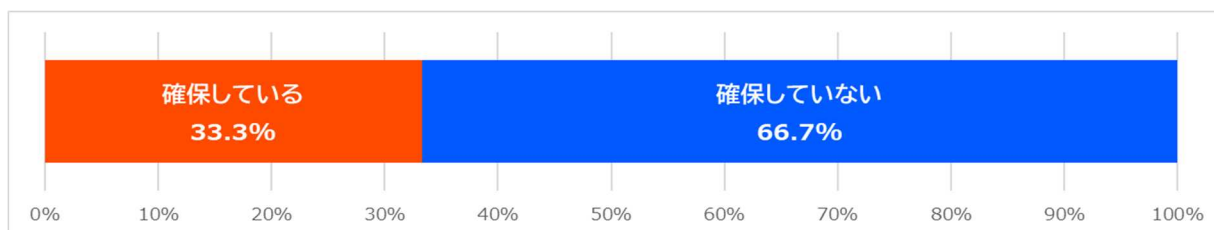
日本語教室の開催	0
地域の日本語教室への助成(補助金交付)	1
日本語教師※1、日本語学習支援者※2の養成講座・研修等の実施	0
日本語教室へのアドバイザーの派遣	0
国際交流協会等が実施する日本語教育関連事業への補助金交付(2を除く)	4
日本語教室への会場の無償提供や減免措置の実施	1
その他 ※3	2
実施していない	17

※ 1 日本語教師:日本語学習者に直接日本語を指導する者

※ 2 日本語学習支援者:日本語教師や日本語教育コーディネーター(地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語教師、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者)と共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者

※ 3 委託事業として日本語教室を実施している / 国際交流協会への補助金の一部が日本語教室に充てられている

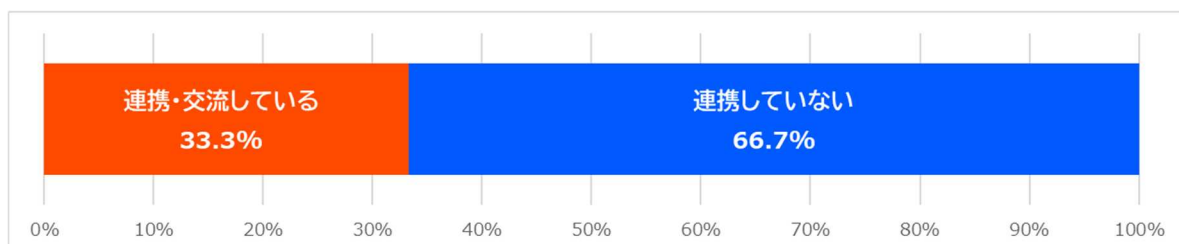
(2)令和6年度の日本語教育に関する事業(学校教育課程以外)の予算・財源を確保しているか(N=24)



確保している	8
確保していない	16
計	24

区分	一般財源	国の補助金	その他	平均予算額(円) (予算ありの団体)	補足
補助事業 (問1の「地域の日本語教室への助成」「国際交流協会等が実施する日本語教育関連事業への補助金」が該当)	5 自治体			240,000	
上記以外	3 自治体			276,667	(内数)

(3)日本語教育に関して他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO 日本語学校、日本語教室等)と連携、交流を行っているか(N=24)

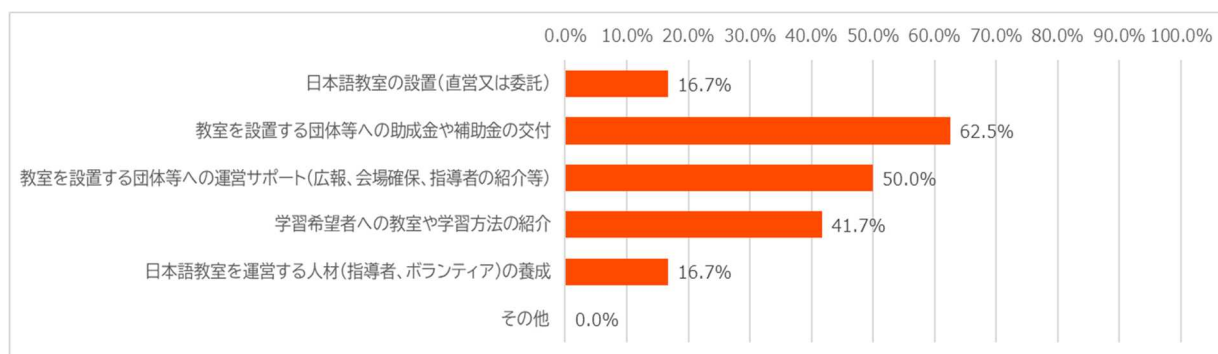


連携・交流している ※	8
連携していない	16
計	24

※ (連携・交流先)国際交流協会、大学

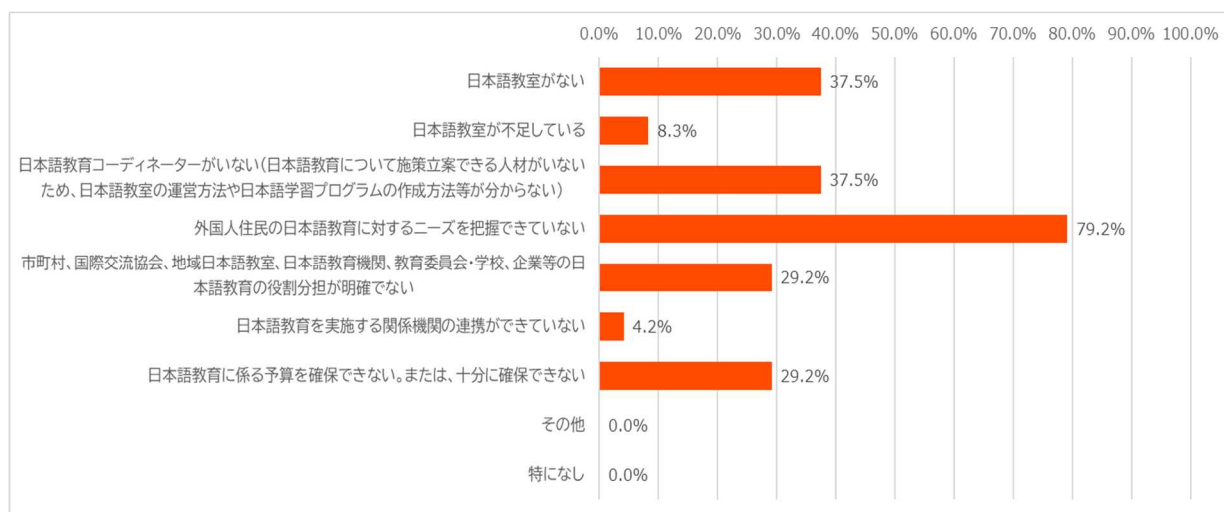
※ (連携・交流内容)学生団体が開催する「日本語教室」の案内、国際交流協会が実施する日本語教育関連事業への補助金交付、総会等会議への出席、イベントへの参加、日本語教育等を行う

(4)在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあるか(複数回答)(N=24)



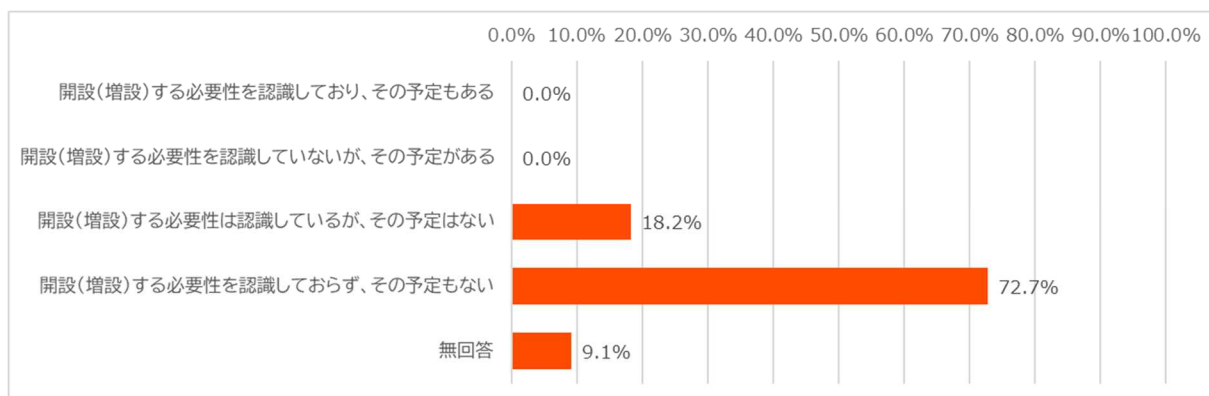
日本語教室の設置(直営又は委託)	4
教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付	15
教室を設置する団体等への運営サポート(広報、会場確保、指導者の紹介等)	12
学習希望者への教室や学習方法の紹介	10
日本語教室を運営する人材(指導者、ボランティア)の養成	4
その他	0

(5)日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあるか(複数回答)(N=24)



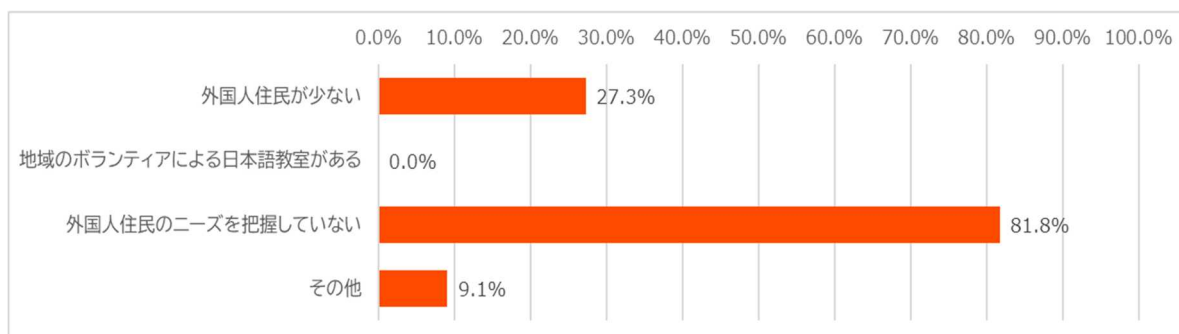
日本語教室がない	9
日本語教室が不足している	2
日本語教育コーディネーターがない(日本語教育について施策立案できる人材がないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)	9
外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない	19
市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない	7
日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない	1
日本語教育に係る予算を確保できない。または、十分に確保できない	7
その他	0
特になし	0

(6)問(5)で「日本語教室がない」「日本語教室が不足している」と回答した市町村について、教室の開設(増設)の必要性和今後の予定 (n=11)



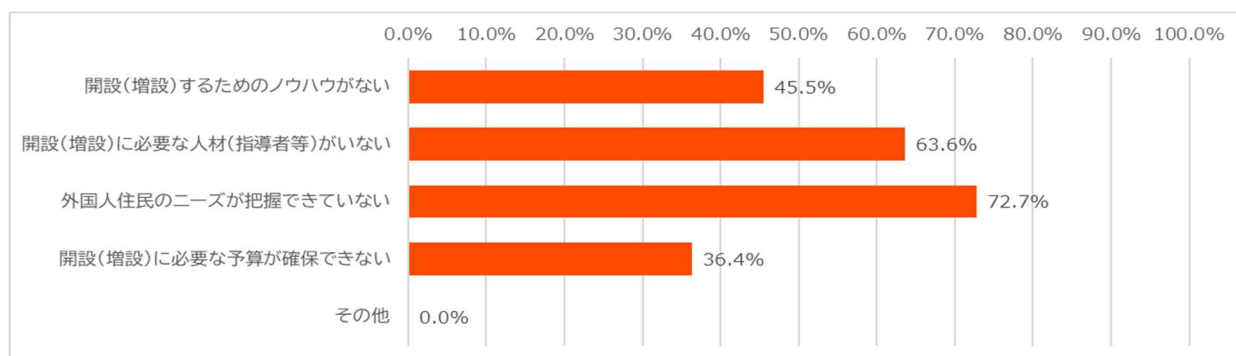
開設(増設)する必要性を認識しており、その予定もある	0
開設(増設)する必要性を認識していないが、その予定がある	0
開設(増設)する必要性は認識しているが、その予定はない ※その理由	2
開設(増設)する必要性を認識しておらず、その予定もない ※その理由	8
無回答	1
計	11

※ その理由(複数回答)(n=11)



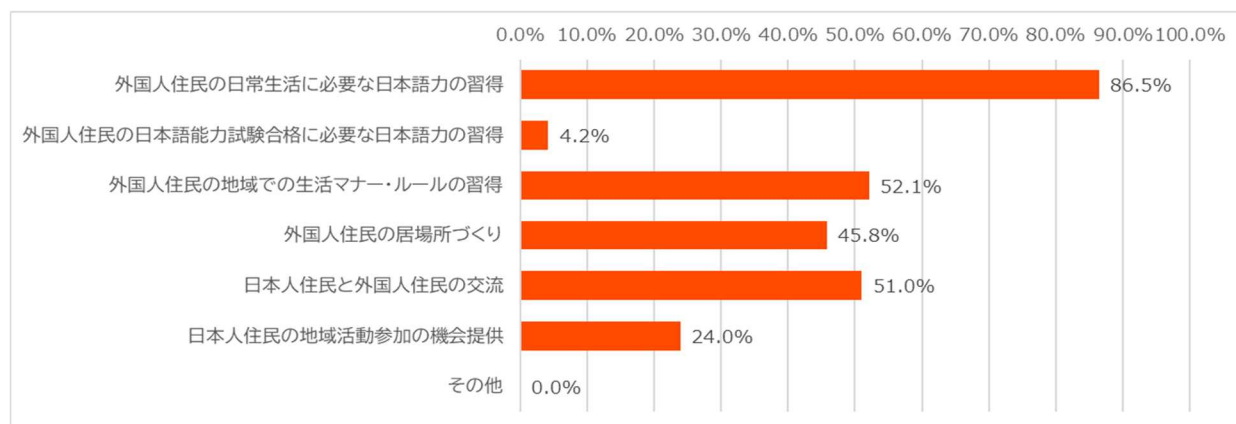
外国人住民が少ない	3
地域のボランティアによる日本語教室がある	0
外国人住民のニーズを把握していない	9
その他	1

(7)問(5)で「日本語教室がない」「日本語教室が不足している」と回答した市町村について、教室開設(増設)する上での課題(複数回答)(n=11)



開設(増設)するためのノウハウがない	5
開設(増設)に必要な人材(指導者等)がない	7
外国人住民のニーズが把握できていない	8
開設(増設)に必要な予算が確保できない	4
その他	0

(8)地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるか(N=24)

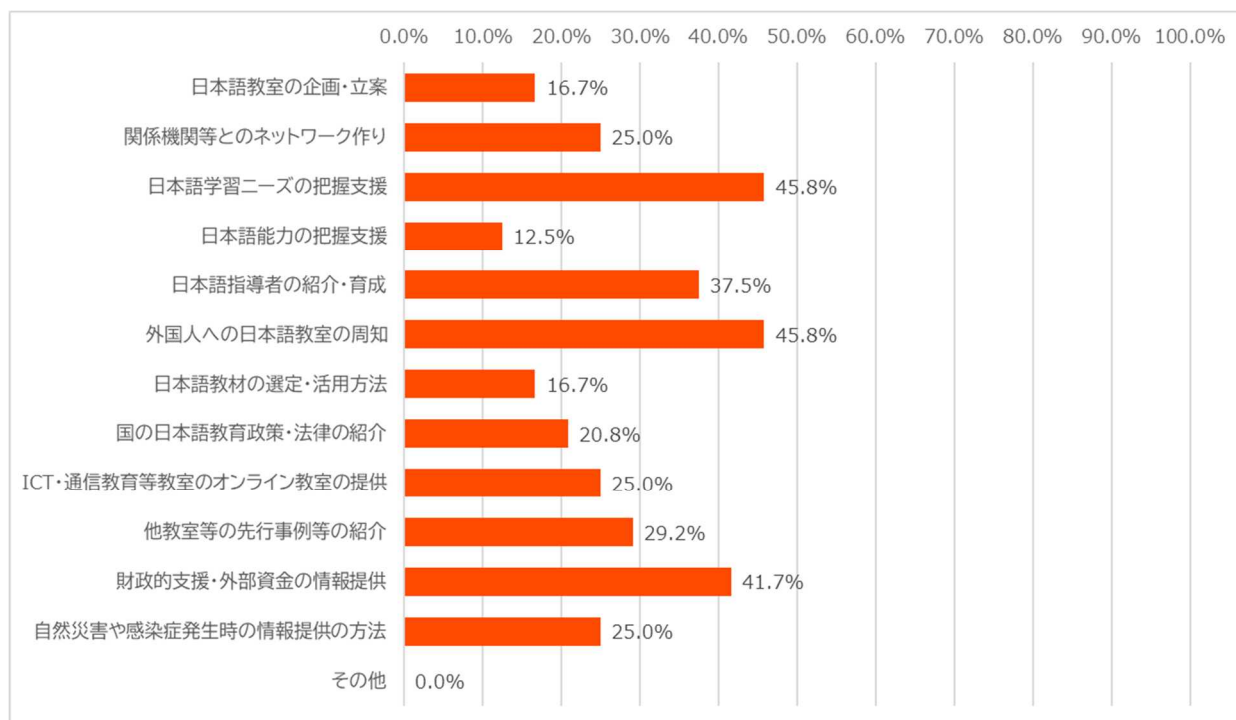


(重要だと考えているものを4つ、優先順位が高い順に選択【高1～4低】)

	1	2	3	4	合計点
外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得	19	1	1	2	83
外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得	0	0	1	2	4
外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得	2	10	4	4	50
外国人住民の居場所づくり	1	8	7	2	44
日本人住民と外国人住民の交流	6	3	6	4	49
日本人住民の地域活動参加の機会提供	1	1	4	8	23
その他	0	0	0	0	0

※ 合計点の集計は優先順位 1位を4点、2位を3点、3位を2点、4位を1点として集計

(9) 今後、日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるとよいと考えるか(複数回答)(N=24)



日本語教室の企画・立案	4
関係機関等とのネットワーク作り	6
日本語学習ニーズの把握支援	11
日本語能力の把握支援	3
日本語指導者の紹介・育成	9
外国人への日本語教室の周知	11
日本語教材の選定・活用方法	4
国の日本語教育政策・法律の紹介	5
ICT・通信教育等教室のオンライン教室の提供	6
他教室等の先行事例等の紹介	7
財政的支援・外部資金の情報提供	10
自然災害や感染症発生時の情報提供の方法	6
その他	0

(10) その他、日本語教育事業に関して、県に対してのご意見・ご提案(自由記述)

- ・ ニーズ等の状況によっては、広域での取り組みの検討も必要ではないかと思います。
- ・ 小さい自治体が個々に実施するのは難しいため、県が主体で日本語教育事業を行い、それに各市町村が参加させていただくような形を構築していただけると助かります。

2.4 地域国際交流協会

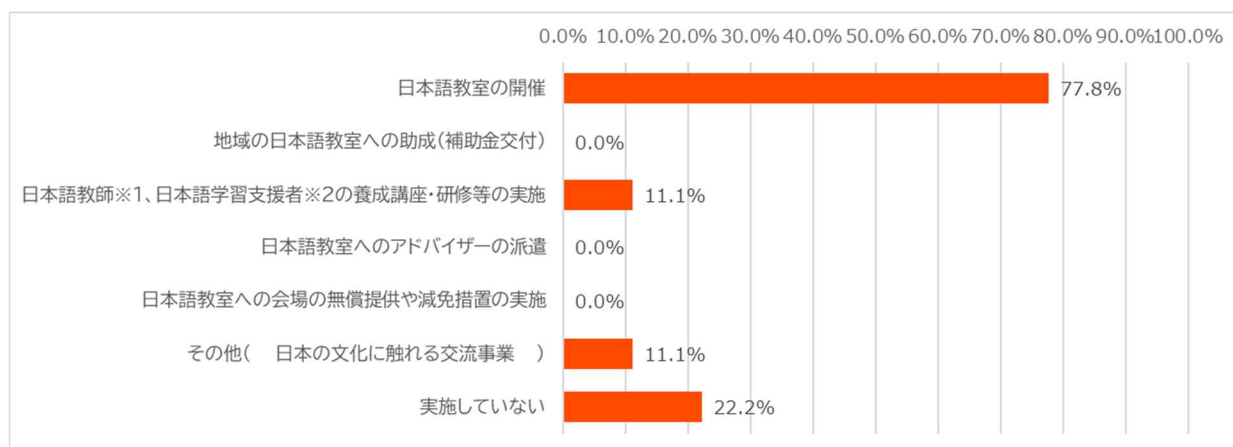
(1)有効回答数

9

(2)調査方法

地域国際交流協会にアンケートへの回答を依頼(19団体)

(1)令和6年度に、日本語教育に関し、どのような事業(市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される生徒向けの事業は除く)を実施(予定を含む)するか(複数回答)(n=9)



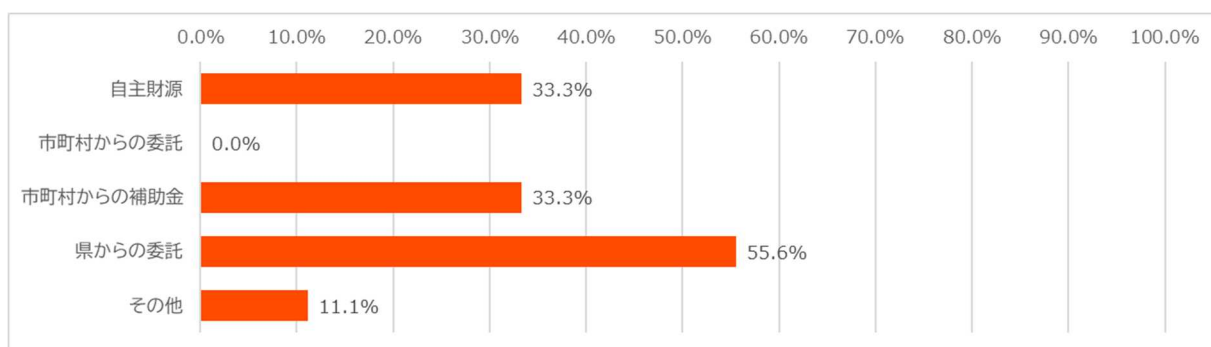
日本語教室の開催	7
地域の日本語教室への助成(補助金交付)	0
日本語教師 ※1 日本語学習支援者 ※2 の養成講座・研修等の実施	1
日本語教室へのアドバイザーの派遣	0
日本語教室への会場の無償提供や減免措置の実施	0
その他 ※3	1
実施していない	2

※ 1 日本語教師:日本語学習者に直接日本語を指導する者

※ 2 日本語学習支援者:日本語教師や日本語教育コーディネーター(地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語教師、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者)と共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者

※ 3 日本の文化に触れる交流事業

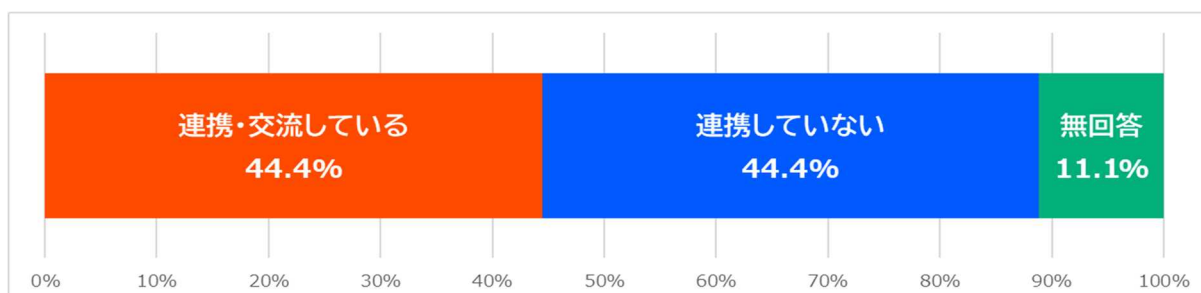
(2)令和6年度の日本語教育に関する事業(学校教育課程以外)の予算・財源(複数回答)(n=9)



自主財源	3
市町村からの委託	0
市町村からの補助金	3
県からの委託	5
その他 ※	1

※ 寄附

(3)日本語教育に関して他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO 日本語学校、日本語教室等)と連携、交流を行っているか(n=9)



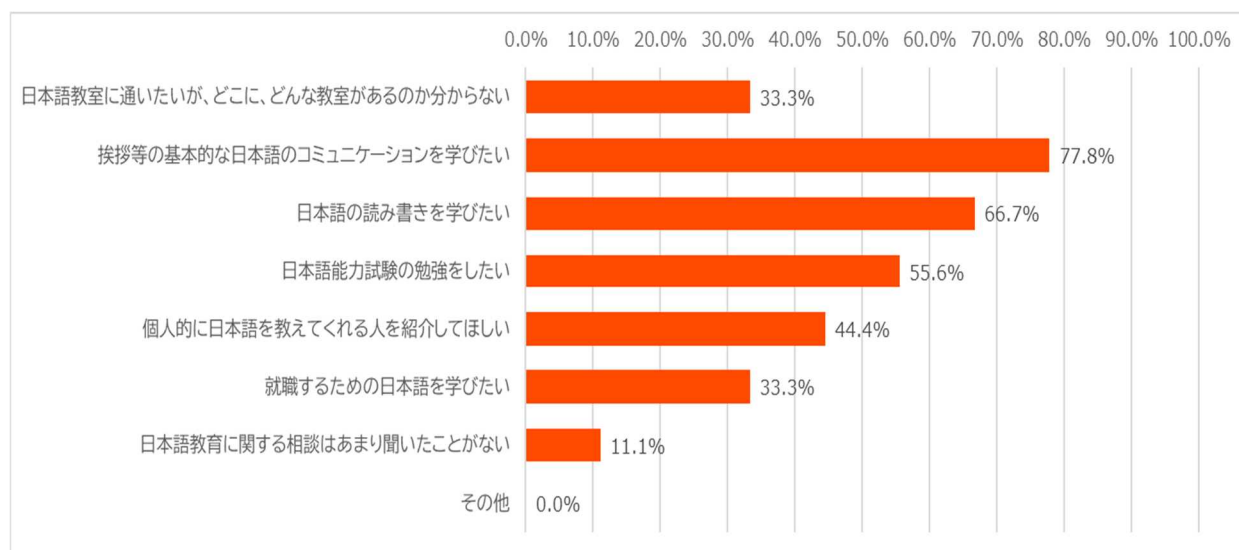
連携・交流している ※	4
連携していない	4
無回答	1
計	9

※ (連携・交流先)

三好市、つるぎ町日本語教室、吉野川市国際交流協会、徳島県国際交流協会、阿波日本語教室
(連携・交流内容)

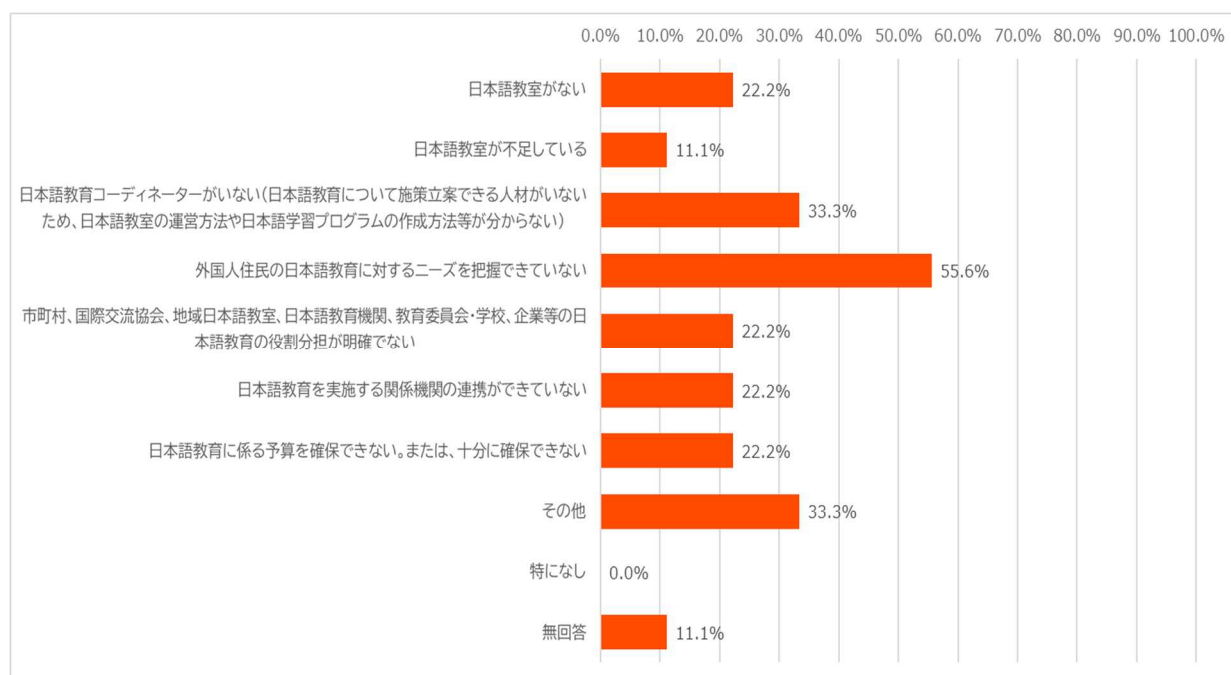
授業の見学、研修会、情報交換会等への参加、スピーチコンテスト共催

(4)外国人住民からの日本語教育に関する相談には、どのようなものがあるか(複数回答)(n=9)



日本語教室に通いたい、どこに、どんな教室があるのか分からない。	3
挨拶等の基本的な日本語のコミュニケーションを学びたい	7
日本語の読み書きを学びたい	6
日本語能力試験の勉強をしたい	5
個人的に日本語を教えてくれる人を紹介してほしい	4
就職するための日本語を学びたい	3
日本語教育に関する相談はあまり聞いたことがない	1
その他	0

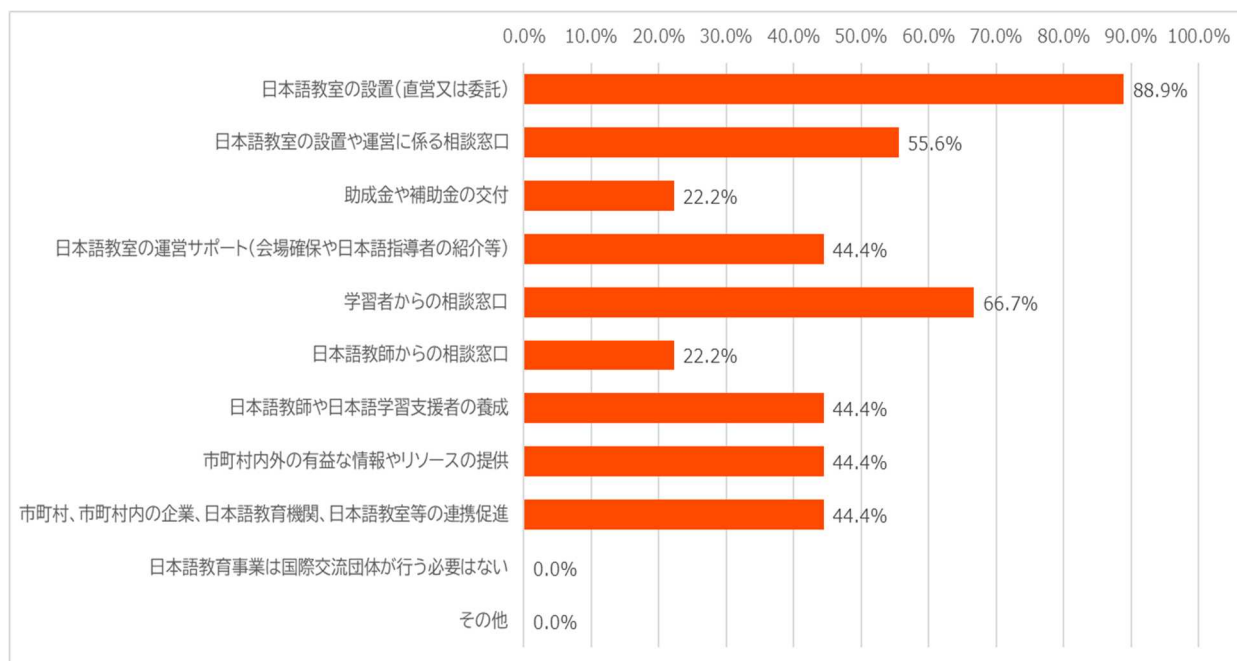
(5)地域における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあるか(複数回答)(n=9)



日本語教室がない	2
日本語教室が不足している	1
日本語教育コーディネーターがない(日本語教育について施策立案できる人材がないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)	3
外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない	5
市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない	2
日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない	2
日本語教育に係る予算を確保できない。または、十分に確保できない	2
その他 ※	3
特になし	0
無回答	1

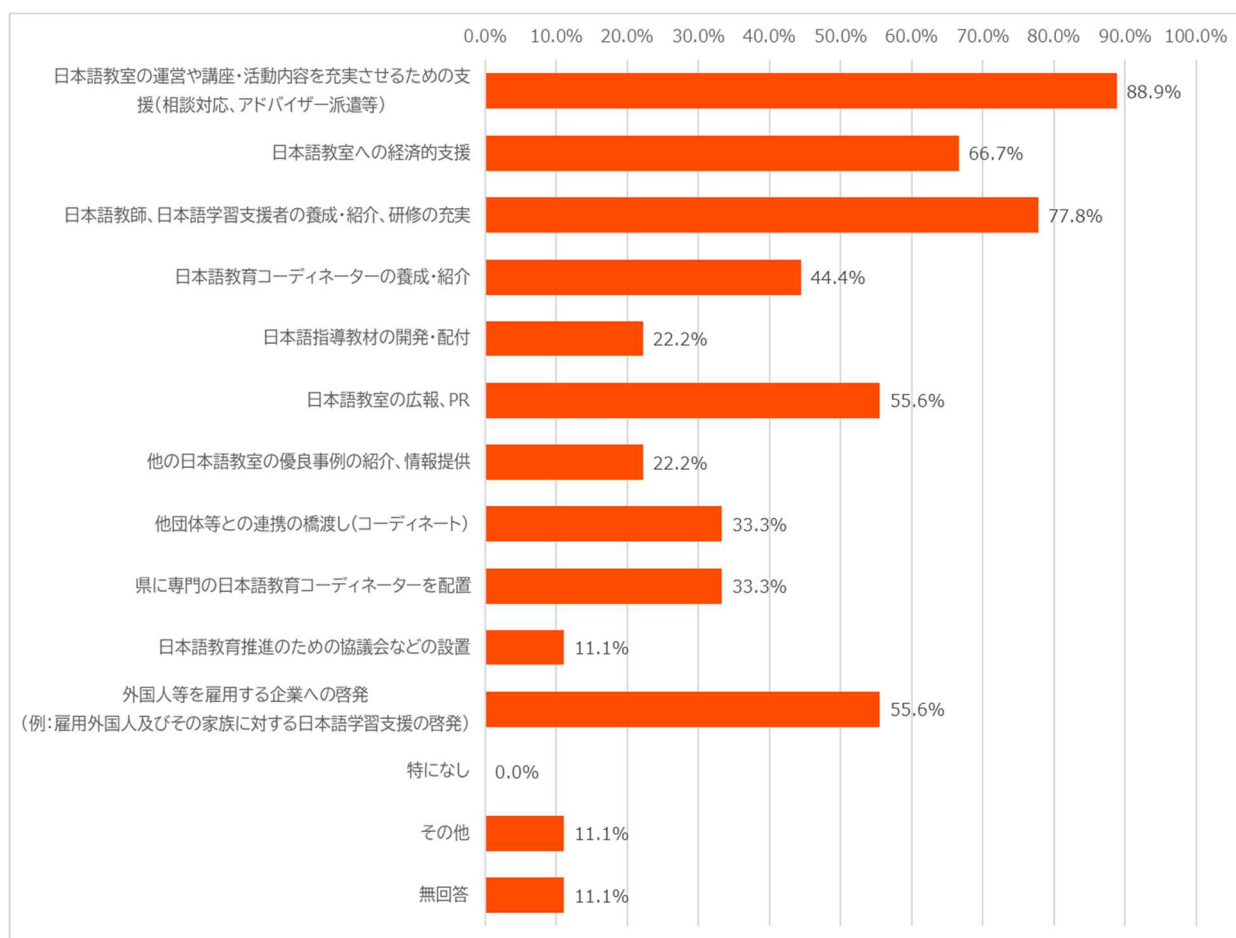
※ 行政のバックアップがない、日本語ボランティア講師の不足や高齢化

(6)地域の日本語教育における国際交流団体の役割にはどのようなものがあるか(複数回答)
(n=9)



日本語教室の設置(直営又は委託)	8
日本語教室の設置や運営に係る相談窓口	5
助成金や補助金の交付	2
日本語教室の運営サポート(会場確保や日本語指導者の紹介等)	4
学習者からの相談窓口	6
日本語教師からの相談窓口	2
日本語教師や日本語学習支援者の養成	4
市町村内外の有益な情報やリソースの提供	4
市町村、市町村内の企業、日本語教育機関、日本語教室等の連携促進	4
日本語教育事業は国際交流団体が行う必要はない	0
その他	0

(7) 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと思うか(複数回答)(n=9)



日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援(相談対応、アドバイザー派遣等)	8
日本語教室への経済的支援	6
日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	7
日本語教育コーディネーターの養成・紹介	4
日本語指導教材の開発・配付	2
日本語教室の広報、PR	5
他の日本語教室の優良事例の紹介、情報提供	2
他団体等との連携の橋渡し(コーディネート)	3
県に専門の日本語教育コーディネーターを配置	3
日本語教育推進のための協議会などの設置	1
外国人等を雇用する企業への啓発(例:雇用外国人及びその家族に対する、日本語学習支援の啓発)	5
特になし	0
その他※	1
無回答	1

※ 地域の日本語教室より高いレベルを求める人向けの教室設置 資格者による授業

(8)問(7)で「日本語教育コーディネーターの養成・紹介」「日本語指導教材の開発・配付」「日本語教室の広報、PR」と回答した方について、日本語教育コーディネーターに期待する役割を記入

- ・ 各地域日本語コーディネーターとの情報の共有、連携、連動
- ・ 何から始めたらいいのかわからない状況なので教えて頂きたい。
- ・ 一般論ではなく、地域の実情に合わせた指導。
- ・ 各地域のニーズにあわせた授業・教科書や活動内容のアドバイス。

(9)その他、日本語教育事業に関して、県に対してのご意見・ご提案(自由記述)

- ・ 地域の日本語事業の広報、各地域日本語教室の情報提供。
- ・ 市町村役場から補助金を受けているが多文化共生事業に対する補助金である。その中から日本語教室にも使っていいということになっているがなかなか厳しい状況である。ニーズはあると考える。
- ・ 地域の日本語教室の役割の明示。国家資格となった日本語教師と地域のボランティアとの差別化。

2.5 地域日本語教室

(1)有効回答数

10

(2)調査方法

地域日本語教室にアンケートへの回答を依頼(13団体)

2.5.1 指導体制について

(1)日本語教育コーディネーター ※1配置数	3
(2)日本語学習支援者 ※2登録者数	186

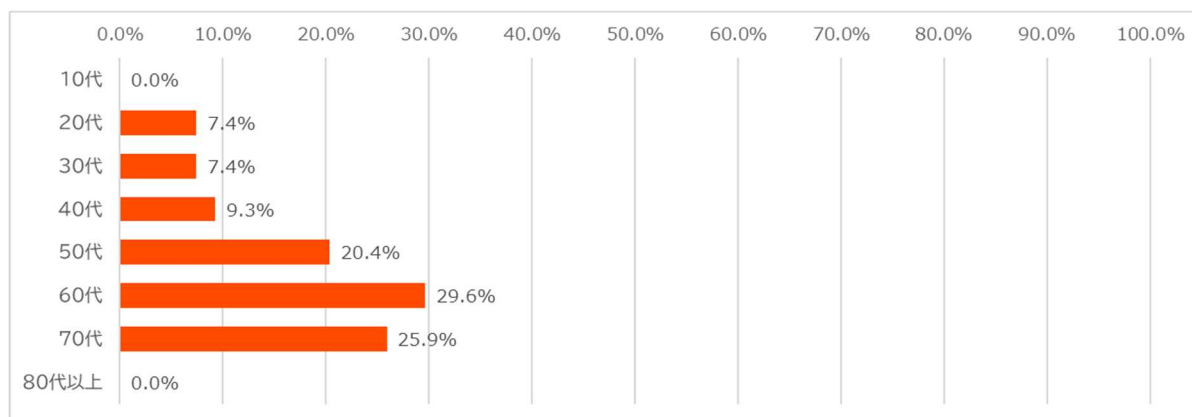
※ 1 日本語教育コーディネーター

地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語学習支援者、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者

※ 2 日本語学習支援者

日本語学習者に直接日本語を指導する者やそのサポートをする者

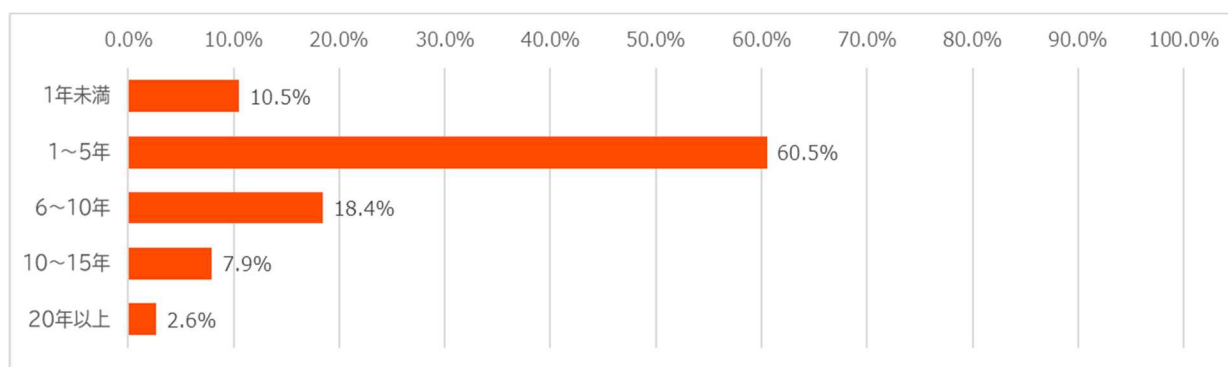
(3)日本語学習支援者の年代別人数(n=189)



※ 不明を除いた 54 名についての割合

10代	0
20代	4
30代	4
40代	5
50代	11
60代	16
70代	14
80代以上	0
不明	135
計	189

(4) 日本語学習支援者の日本語支援経験年数(n=189)



1年未満	4
1～5年	23
6～10年	7
10～15年	3
20年以上	1
無回答	151
計	189

※ 無回答を除いた38名についての割合

(5)登録日本語教員 ※3 有資格者数	12
(6)地域日本語支援ボランティア養成講座 ※4 修了者数	29

※ 3 有資格者：

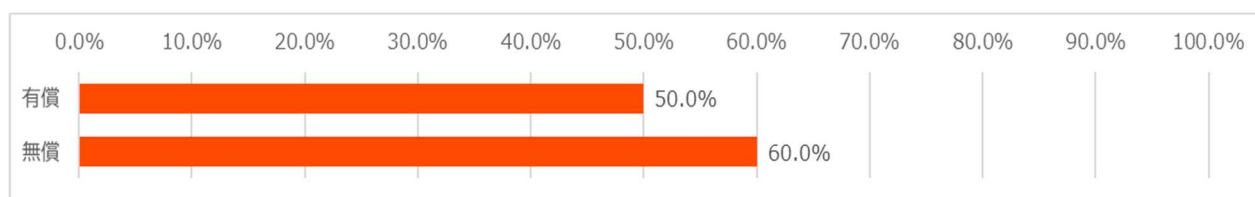
420 時間修了者、日本語教育能力試験合格者、大学で日本語教育専攻修了者。

登録日本語教員は令和6年 11 月 17 日にはじめて試験が行われた。

※ 4:地域日本語支援ボランティア養成講座：

(公財)徳島県国際交流協会等が主催する日本語学習支援ボランティアを養成するための講座で、日本語支援のポイントや多文化共生社会について学習する。

(7) 日本語支援者への謝金(複数回答)(n=10)



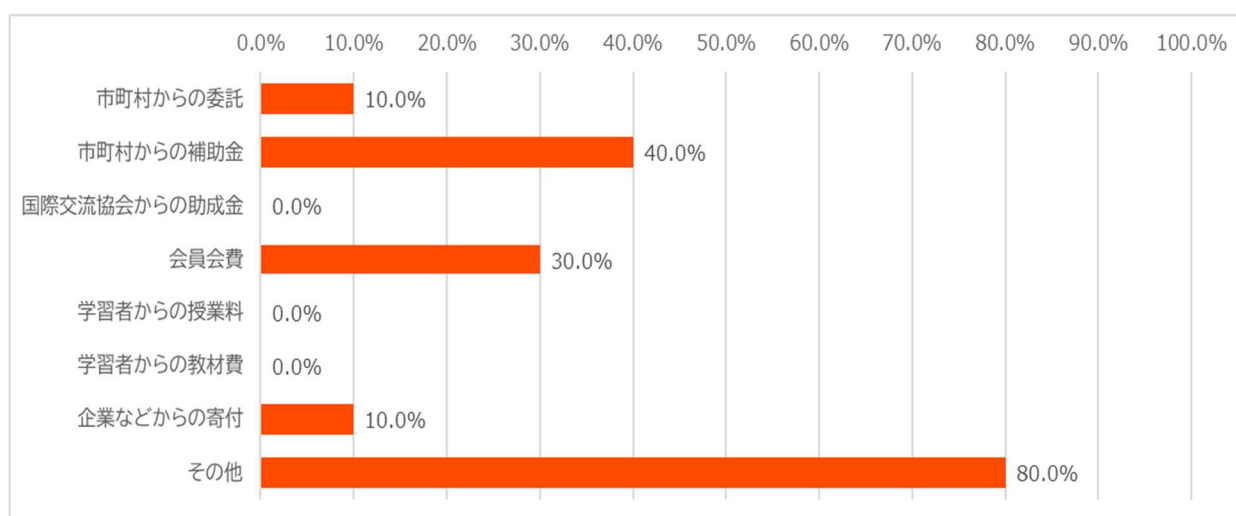
有償	5
無償	6

(8) 教室の運営費

徳島県国際交流協会	1,846 千円
その他の日本語教室(平均) ※	256千円

※ 回答のあった 8 団体の平均

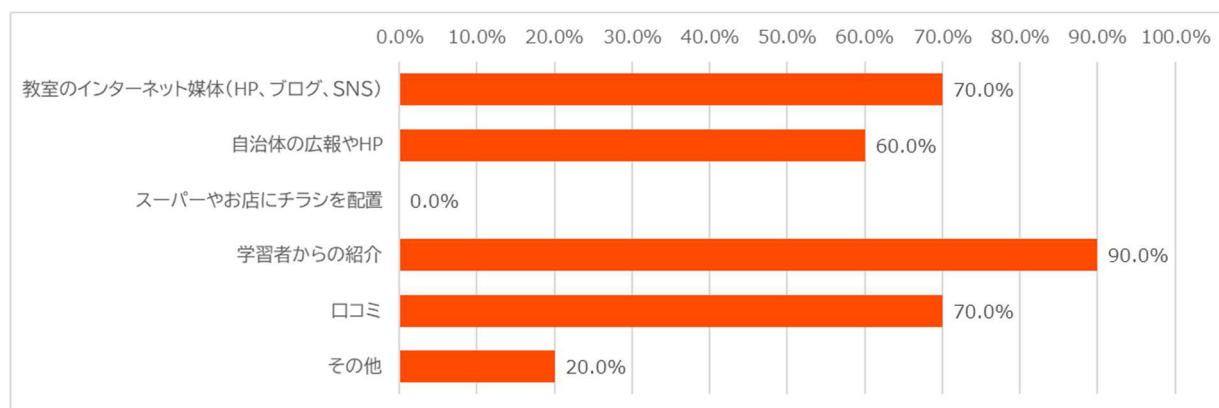
(9) 教室の運営費財源(複数回答)(n=10)



市町村からの委託	1
市町村からの補助金	4
国際交流協会からの助成金	0
会員会費	3
学習者からの授業料	0
学習者からの教材費	0
企業などからの寄付	1
その他 ※	8

※ 県からの委託金

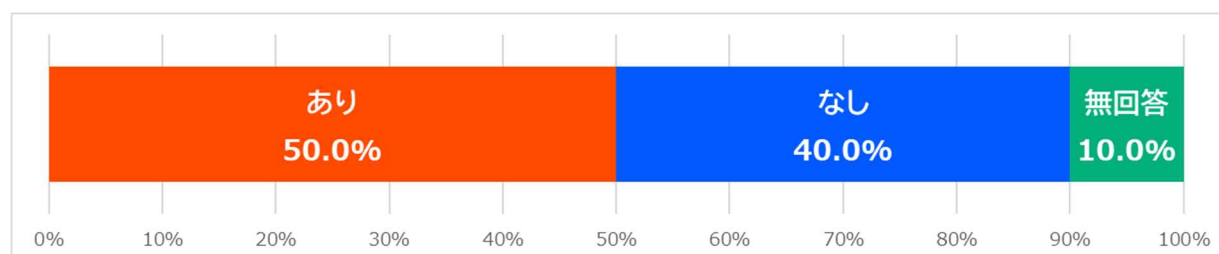
(10)学習者募集方法(複数回答)(n=10)



教室のインターネット媒体(HP、ブログ、SNS)	7
自治体の広報や HP	6
スーパーやお店にチラシを配置	0
学習者からの紹介	9
口コミ	7
その他 ※	2

※ 企業からのすすめ

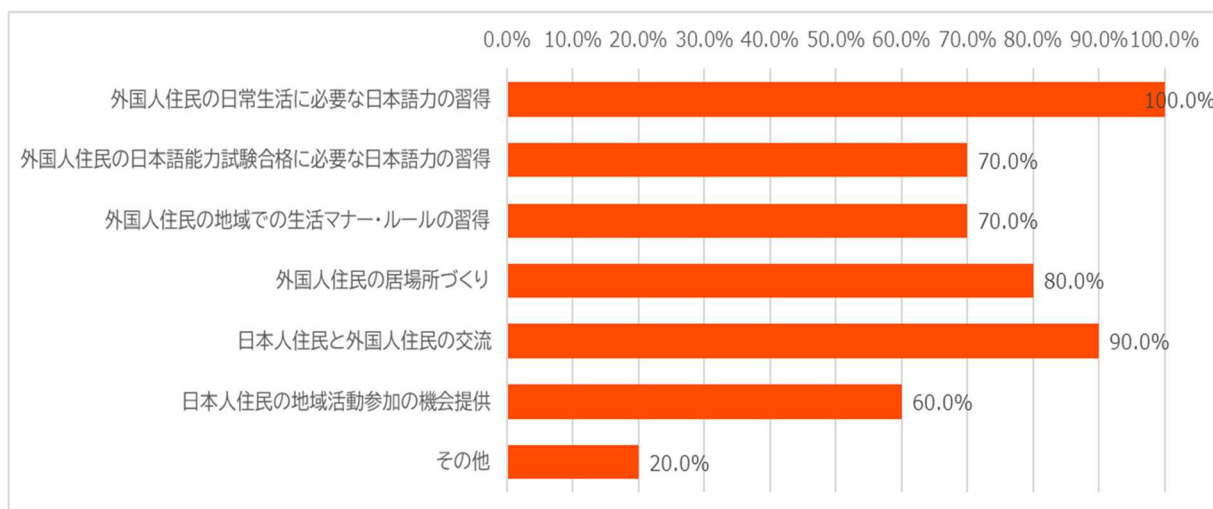
(11)教室の活動を紹介するウェブサイトやSNSがあるか(n=10)



あり	5
なし	4
無回答	1
計	10

2.5.2 取組内容等について

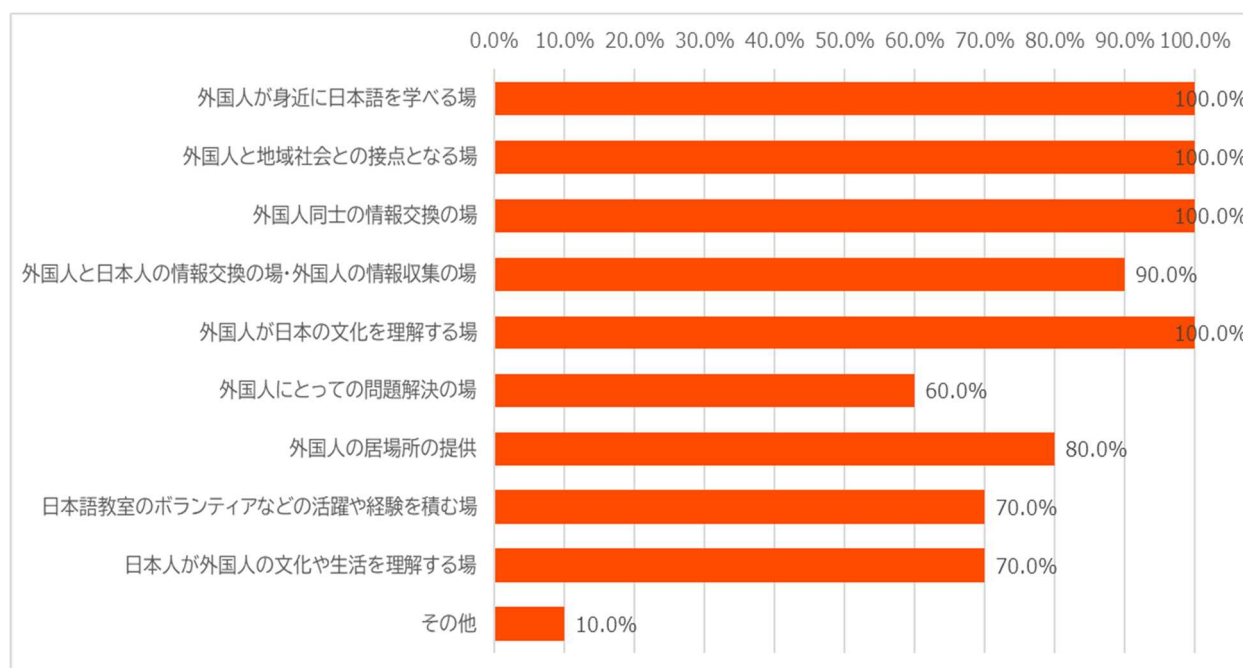
(1)日本語教室活動の目的について(複数回答)(n=10)



外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得	10
外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得	7
外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得	7
外国人住民の居場所づくり	8
日本人住民と外国人住民の交流	9
日本人住民の地域活動参加の機会提供	6
その他 ※	2

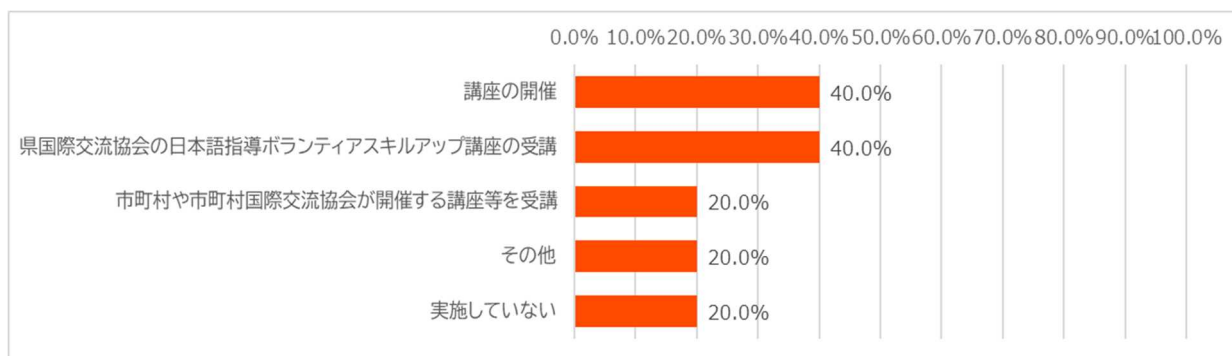
※ 外国人住民の相談ができる場の提供

(2)地域の日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思うか(複数回答)(n=10)



外国人が身近に日本語を学べる場	10
外国人と地域社会との接点となる場	10
外国人同士の情報交換の場	10
外国人と日本人の情報交換の場・外国人の情報収集の場	9
外国人が日本の文化を理解する場	10
外国人にとっての問題解決の場	6
外国人の居場所の提供	8
日本語教室のボランティアなどの活躍や経験を積む場	7
日本人が外国人の文化や生活を理解する場	7
その他	1

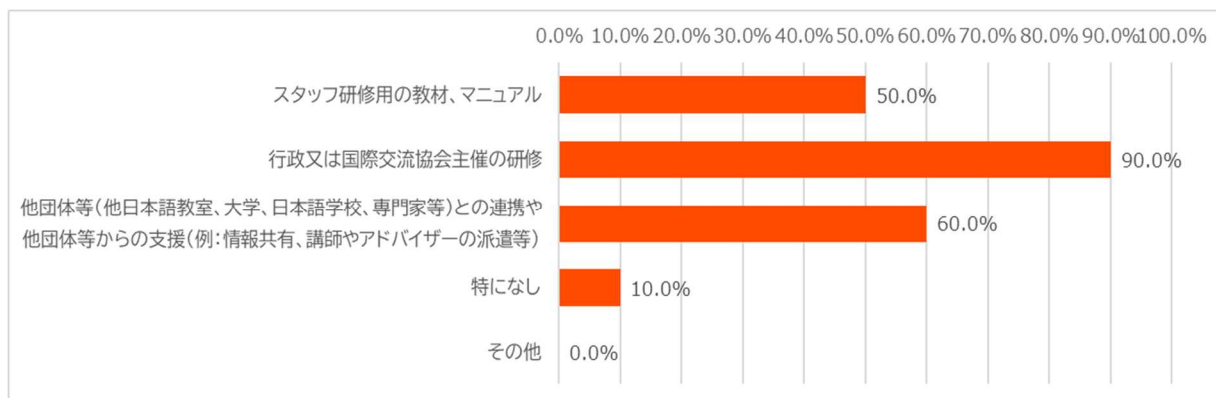
(3)日本語学習支援者の人材育成のために教室として行っていることがあるか(複数回答)(n=10)



実施している	8
講座の開催	4
県国際交流協会の日本語指導ボランティアスキルアップ講座の受講	4
市町村や地域国際交流協会が開催する講座等を受講	2
その他 ※	2
実施していない	2

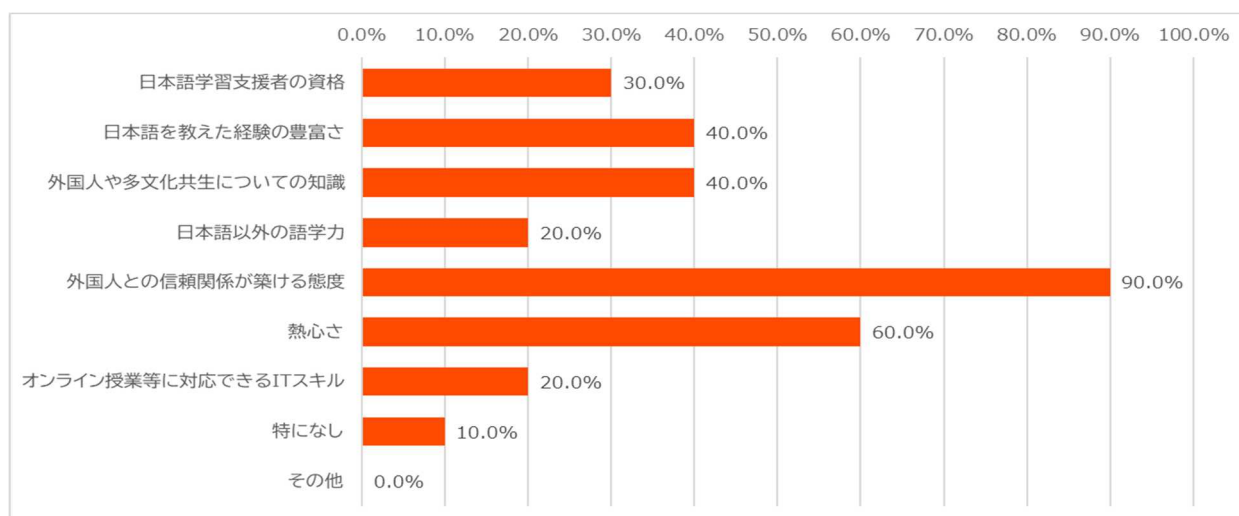
※ 同伴、勉強会

(4)日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいと思うものはあるか(複数回答)(n=10)



スタッフ研修用の教材、マニュアル	5
行政又は国際交流協会主催の研修	9
他団体等(他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等)との連携や他団体等からの支援(例:情報共有、講師やアドバイザーの派遣等)	6
特になし	1
その他	0

(5)日本語学習支援者に求める能力や姿勢(複数回答)(n=10)

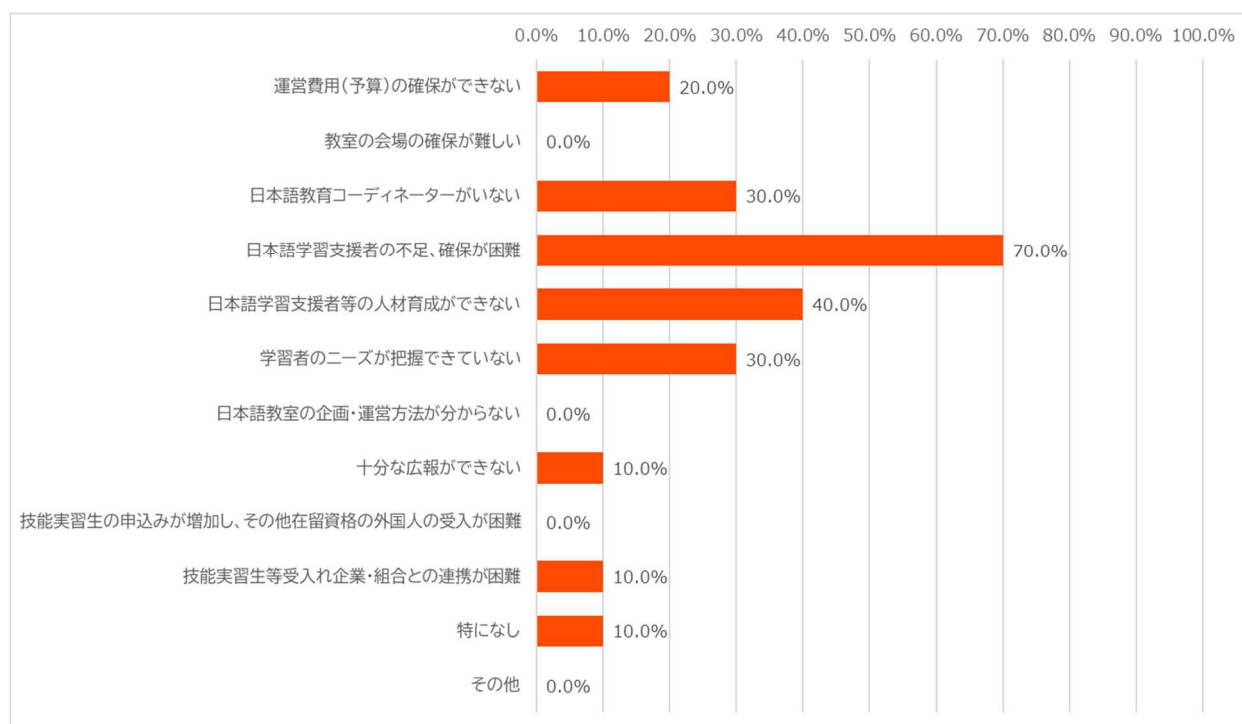


日本語学習支援者の資格	3
日本語を教えた経験の豊富さ	4
外国人や多文化共生についての知識	4
日本語以外の語学力	2
外国人との信頼関係が築ける態度	9
熱心さ	6
オンライン授業等に対応できる IT スキル	2
特になし	1
その他	0

(6)日本語指導で困っていること(自由記述)

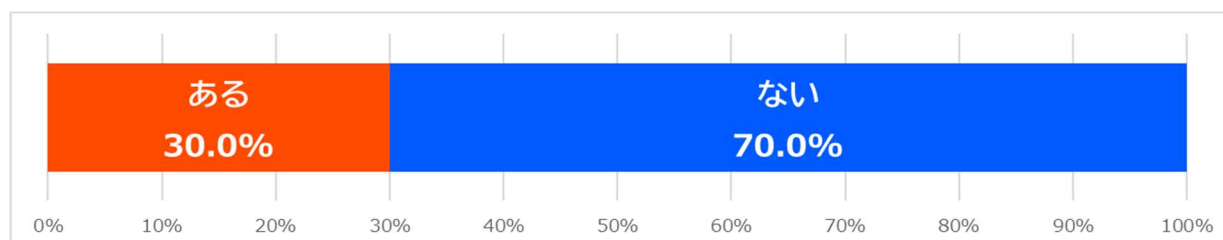
- ・ 教室が始まってからも、五月雨式に、学習者が新しく入ってくるので対応に苦慮することがある。
- ・ 支援者と学習者のバランス(学習者が急に来てくれたり、来てくれなかったりする)
- ・ 出席している学習者さんの習熟度が違うのにサポーターが少ないときどのように指導していいかわからない。
- ・ 日本語教室に何を求めているのか、十分に把握できていないことがある。
- ・ モチベーションを高め、学ぶ目標を持ってもらうための働きかけ
- ・ 事業所の関係者の日本語教室への理解
- ・ 学習者の出席人数にばらつきが多く、講師の割り当てに苦心する
- ・ 学習者の日本語レベルにかなりの差がある
- ・ ボランティア講師の高齢化と人数不足
- ・ 最近では中東などの学習者が多く、テキストの翻訳版が手に入らない。
- ・ 学習者の日本語レベルに格差があり、一人で指導するには限界がある。

(7)日本語教室の運営で困っていることはあるか(複数回答)(n=10)



運営費用(予算)の確保ができない	2
教室の会場の確保が難しい	0
日本語教育コーディネーターがいない	3
日本語学習支援者の不足、確保が困難	7
日本語学習支援者等の人材育成ができない	4
学習者のニーズが把握できていない	3
日本語教室の企画・運営方法が分からない	0
十分な広報ができない	1
技能実習生の申込みが増加し、その他在留資格の外国人の受入が困難	0
技能実習生等受入れ企業・組合との連携が困難	1
特になし	1
その他	0

(8)貴団体に日本語学習支援者として入会する際、日本語教育の経験等、条件にしていることはあるか
(n=10)



ある ※	3
ない	7
計	10

※（条件）

- ・ 日本語支援ボランティア養成講座を受講したことがある、日本語を教えた経験がある、日本語教師の資格がある等
- ・ ボランティア養成講座の受講、日本語教育の経験

(9)日本語教育に関して他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携、交流を行っているか(n=10)



連携・交流している ※	8
連携していない	2
計	10

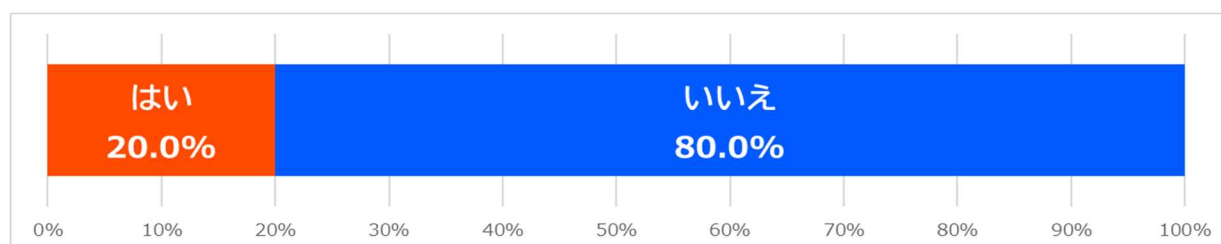
※（連携・交流先）

徳島県内地域日本語教室、つるぎ町日本語教室、吉野川市国際交流協会、徳島大学・四国大学、徳島県国際交流協会、阿波日本語教室

※（連携・交流内容）

日本語支援ボランティア養成講座の現地研修を依頼、イベントの周知等、授業の見学や相談、日和佐での大学のフィールドワークのサポート、オンライン講座での日本語サポート、防災イベントの参加協力、研修や教材などの案内、情報提供、スピーチコンテストへの参加など、研修会や情報交流会への参加、スピーチコンテスト共催

(10)自治体や企業から依頼があった場合に、日本語学習支援者の派遣は可能か(n=10)



はい	2
いいえ	8
計	10

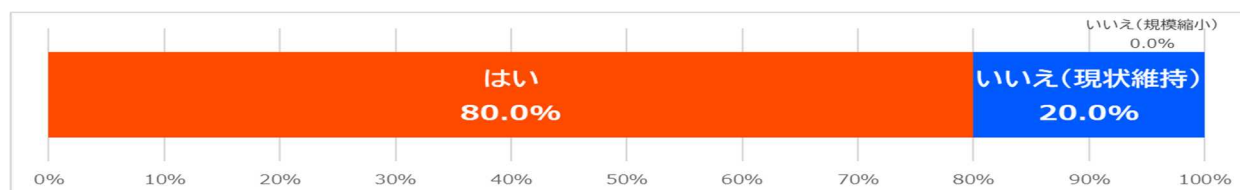
(11)問(10)で「はい」と回答した方について、派遣する場合はどのような条件が必要か(自由記述)

- ・ 支援者の方と依頼先の方との条件が合えば
- ・ 学力レベルが入門・初級まで

(12)問(10)で「いいえ」と回答した方について、その理由(自由記述)

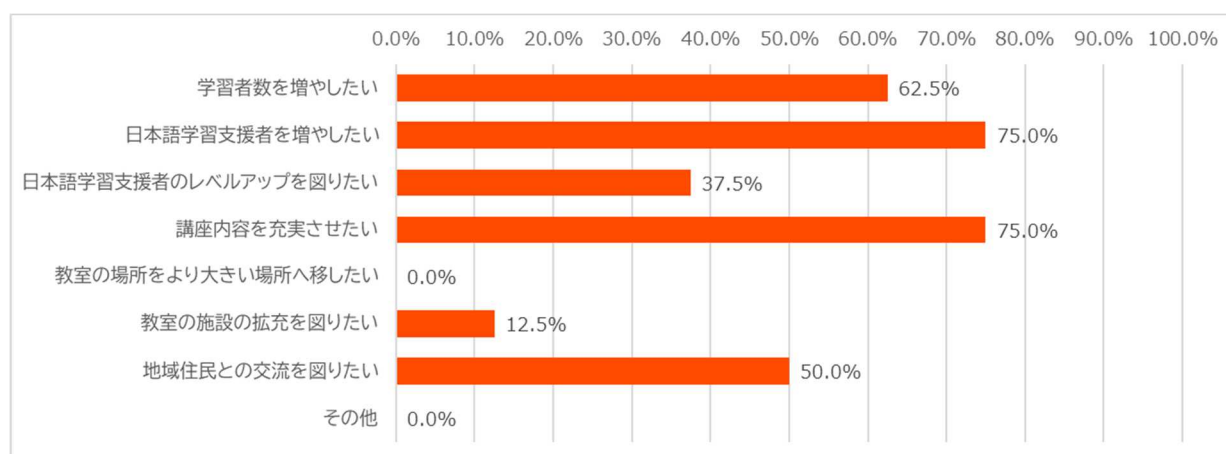
- ・ 仕事に支障がでるため今以上支援のために時間を作ることは難しい。
- ・ 日本語学習支援者を紹介してほしい旨の依頼があった場合は、当協会の日本語支援ボランティア登録者に、事業者の依頼内容(日本語支援するレベル、学習者について、回数、謝金、交通費など)をメールにてそのまま送り、希望者が直接事業者と連絡をとる形をとっている。あくまで案内をしているのみなので、事業者から結果を報告してもらうようなこともない。従って条件を当協会から提示することもない。
- ・ コロナの期間に学習者が減り、サポーターの数も減らしたのだが、コロナが終わってもサポーターの参加者が増えないため、派遣する人材がいない。
- ・ 自分の団体でも人員不足だから
- ・ ニーズに応えられる指導力が十分に身についていない。年齢や体力等、自前の日本語教室での指導で手一杯。
- ・ ニーズに答えられるか不明のため。

(13) 今後、教室を発展させたいと思うか(n=10)



はい	8
いいえ(現状維持)	2
いいえ(規模縮小)	0
計	10

(14) 問(13)で「はい」と回答した方について、今後教室をどのように発展させていきたいか(複数回答)
(n=8)

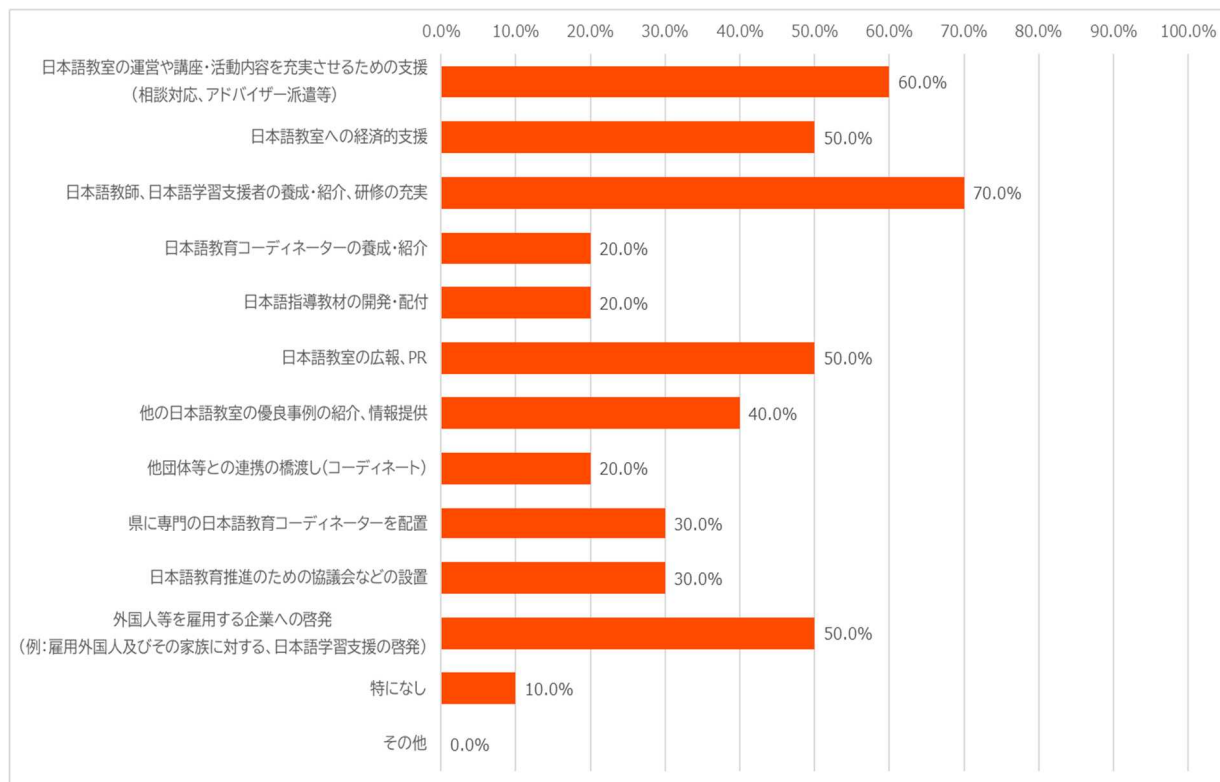


学習者数を増やしたい	5
日本語学習支援者を増やしたい	6
日本語学習支援者のレベルアップを図りたい	3
講座内容を充実させたい	6
教室の場所をより大きい場所へ移したい	0
教室の施設の拡充を図りたい	1
地域住民との交流を図りたい	4
その他	0

(15) 問(13)で「いいえ(現状維持)」と回答した方について、その理由(自由記述)

- ・ 支援者・学習者のバランスの確保。
- ・ 他に支援者もいないことから、現状維持で続けていく。

(16) 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと思うか(複数回答)(n=10)



日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援 (相談対応、アドバイザー派遣等)	6
日本語教室への経済的支援	5
日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	7
日本語教育コーディネーターの養成・紹介	2
日本語指導教材の開発・配付	2
日本語教室の広報、PR	5
他の日本語教室の優良事例の紹介、情報提供	4
他団体等との連携の橋渡し(コーディネート)	2
県に専門の日本語教育コーディネーターを配置	3
日本語教育推進のための協議会などの設置	3
外国人等を雇用する企業への啓発 (例:雇用外国人及びその家族に対する、日本語学習支援の啓発)	5
特になし	1
その他	0

(17)問(12)で「日本語教育コーディネーターの養成・紹介」「他団体等との連携の橋渡し(コーディネーター)」「県に専門の日本語教育コーディネーターを配置」と回答した方について、日本語教育コーディネーターに期待する役割(自由記述)

- ・ 空白地域などへのアプローチ
- ・ 学習者及び支援者のフォロー

(18)その他、日本語教育事業に関して、県に対してのご意見・ご提案(自由記述)

- ・ 私は、「全国高校入試調査」の徳島担当をしています。今年度の調査では、しらさぎ中学校の情報をあげました。同中学校では、今年度は、23名在籍している外国人生徒のうち、高校進学をめざす16～18才の外国人生徒が5名在籍しています。週8～10時間、日本語の授業に励んでいますが、日常の生活に必要な日本語はできても、読み書き含めた学習言語の獲得にはまだまだ多くの時間が必要です。そのため、一般高校入試の問題は難しすぎるというのが現状です。しかも、昨今の入試問題は、思考力や判断力を試す問題が増える傾向にあり、言葉の壁がますます大きくなっています。入試で私立高校に入学できたものの学習についていく自信がもてず、しらさぎ中学校に通うことを選択した生徒もいます。外国人生徒が高校入試を受けるとき、現在のルビを振ったり、時間を延長するぐらいの配慮では足りないのが現状で、特別枠を設けて、内容を易しくしたり、教科数を減らす等の対応をお願いしたいと思います。
- ・ 自治体の日本語教室への支援の強化(予算・広報・窓口・人材育成など)

2.6 高等教育機関

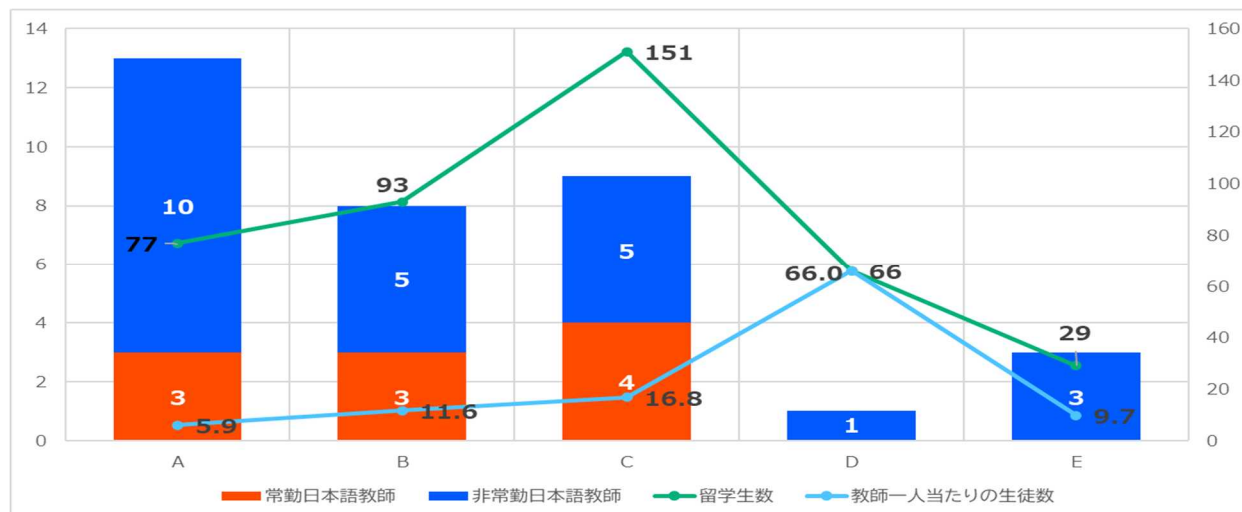
(1)有効回答数

5

(2)調査方法

徳島地域留学生交流推進協議会を通じて、高等教育機関へアンケートへの回答を依頼(6団体)

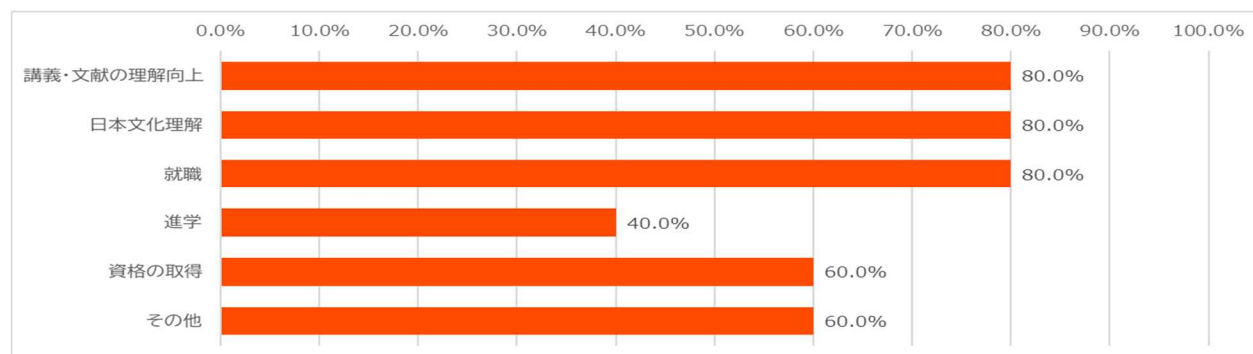
(1)留学生の日本語教育に携わっている日本語教師数及び留学生数(調査時点)



	A	B	C	D	E	計
常勤日本語教師	3	3	4	0	0	10
非常勤日本語教師	10	5	5	1	3	24
留学生数 ※	77	93	151	66	29	416
教師一人当たりの生徒数	5.9	11.6	16.8	66.0	9.7	12.2

※ 在留資格「留学」を持つ外国人

(2)行われている日本語教育の主な目的・目標(複数回答)(n=5)



講義・文献の理解向上	4	進学	2
日本文化理解	4	資格の取得	3
就職	4	その他	3

(3)在籍する留学生(在留資格「留学」を持つ外国人)の国籍別人数

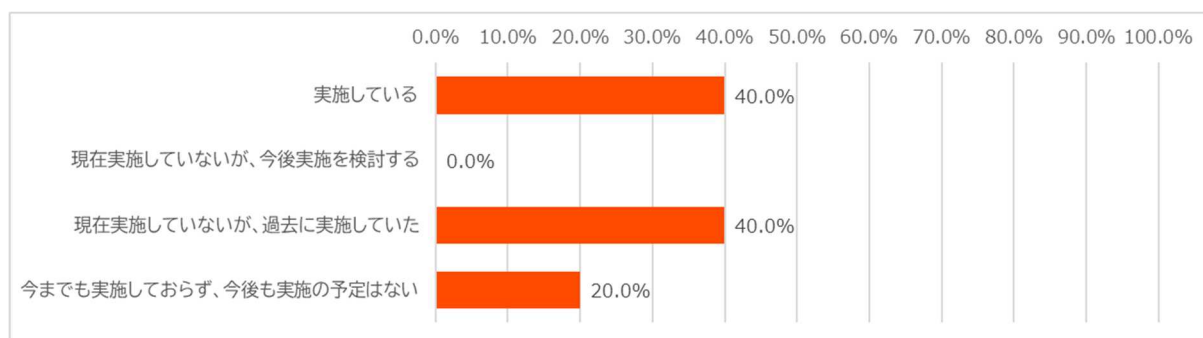
地域	国・地域	人数	国・地域	人数
アジア	中国	144	マレーシア	4
	韓国	36	インド	2
	ベトナム	68	タイ	2
	台湾	14	フィリピン	2
	インドネシア	10	ラオス	2
	ネパール	41	スリランカ	2
	モンゴル	8	ミャンマー	3
	バングラデシュ	21	パキスタン	1
アフリカ	マリ	2	ジブチ	1
	ガーナ	3	ケニア	1
	モザンビーク	3	ウガンダ	1
	エジプト	1	コートジボワール	1
	ブルキナファソ	4	ジンバブエ	1
	ナイジェリア	2	ギニアビサウ	1
	マダガスカル	2	セーシェル	1
	モロッコ	2		
中南米	エルサルバドル	3	ブラジル	1
	ニカラグア	2		
ヨーロッパ	ウズベキスタン	4	スウェーデン	4
	フランス	5	ブルガリア	1
	フィンランド	1	ベルギー	1
大洋州	フィジー	2	バヌアツ	1
	パプアニューギニア	4		
オセアニア	ソロモン諸島	1		
			合計	416

(4)公開講座等で一般の外国人住民が受講できる日本語講座を実施しているか(n=5)



実施している・今後実施予定	0
実施していない	5
計	5

(5)日本語教師を養成する講座又は講義を実施しているか(n=5)

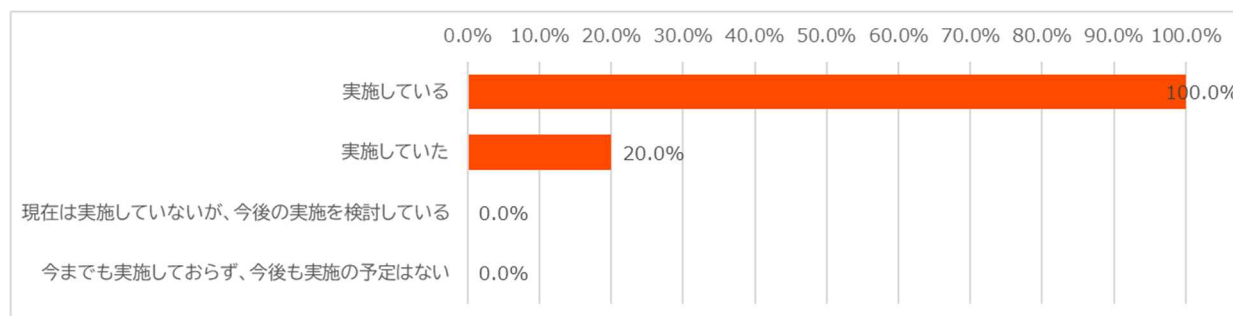


実施している	2
現在実施していないが、今後実施を検討する	0
現在実施していないが、過去に実施していた	2
今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない	1
計	5

(6)留学生に対する日本語教育の課題(自由記述)

- ・ 学生が非常に多様化しており、どのように効果的に日本語・日本文化教育を行っていけば、学生たちの益になるのかを判断するのが難しい(学生の日本語学習の目的、日本滞在期間、日本語学習のバックグラウンド、大学での学修・研究とのバランスなど)
- ・ 多様な文化・言語背景を持つ留学生に対する質の高い教育を目指す工夫
- ・ 日本人学生との交流を通じた異文化理解や日本語力の向上の取り組み
- ・ 地域社会における活動の協働実施・参画を通じた相互理解の促進
- ・ 本学は、文科省及び出入国在留管理庁の指導による日本語能力の基準を充たすことが、出願要件となっており、大学の授業を受講及び日常生活に最低限必要な日本語能力を有する学生のみが在籍している。このため、日本語教育の目的は、本人の将来(就職、進学)を考慮して、希望者を対象として、さらに上位の能力(N1)取得のために講座を開設している。しかし、留学生の多くは、通常の授業に関する学修のために時間を割くため、将来を見据えての N1 講座を受講しようとする学生が多くない、または、受講しても途中で挫折する学生もいる。受講率をあげることが課題である。
- ・ 日常生活のコミュニケーションは問題ない学生も、授業の専門用語や掲示物の注意事項、病院や役所での手続きでは理解度が低い傾向にあり、方言や会話のスピード、抑揚などが理解を難しくしている要因です。本学では従来、日本人学生向けの授業を行い、留学生には日本語能力を向上させる指導をしていました。しかし、漢字圏以外の留学生が増えるにつれ、従来の授業形態では限界があり、授業資料にルビを振る、母国語もしくは英語の補助資料を配布する、分かりやすい動画や写真を用いるなどの学習支援を導入するなど教職員の取組を改善する必要性が急務となりました。本学では全教職員対象に 2 月に「やさしい日本語」の導入の FDSD(大学における教職員の研修活動)を実施する予定です。

(7)現在又は過去に、日本語教育に関して他の団体(他大学、県、市町村、国際交流協会、企業、NPO、日本語学校 etc)と連携、交流を行っているか(n=5 ※一部複数回答)



実施している ※1	5
実施していた ※2	1
現在は実施していないが、今後の実施を検討している	0
今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない	0

※1 (連携している団体名)

日本語交流サロン(JSS)、徳島県立しらさぎ中学校、徳島県国際交流協会、NPO 法人あったかいよう、吉野川市国際交流協会、徳島県スポーツ振興課、生光学園、徳島県教育委員会、徳島日本語ネットワーク、四国大学、徳島市国際交流協会

(連携している交流内容)

日本語学習の補助、文化紹介、学生交流、日本語教育実習、日本語教育研修、異文化交流活動、日本語学習支援活動、講師派遣(短期研修受入プログラム、N1 講習等)、外国人弁論大会、防災訓練、お遍路フィールドワーク、共同研究他

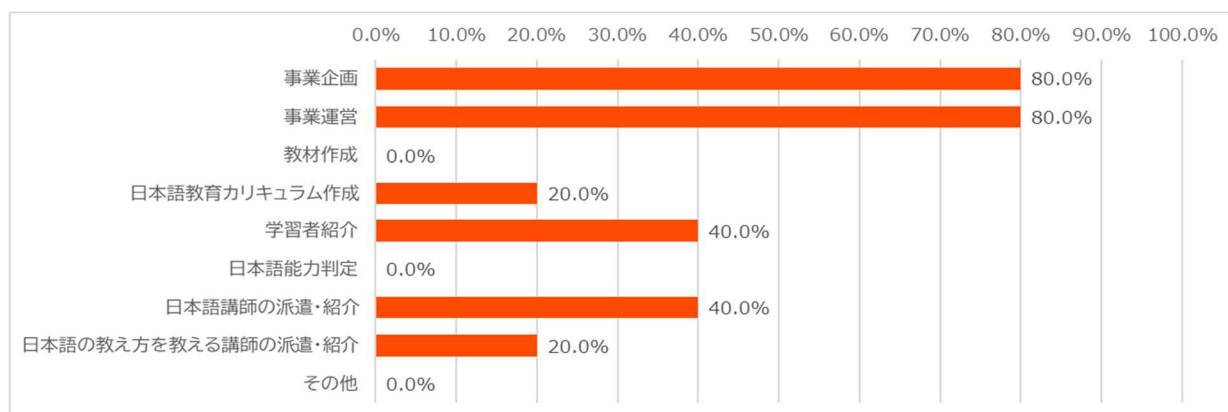
※2 (連携していた団体名)

徳島工業短期大学、はあとふる松茂

(連携していた交流内容)

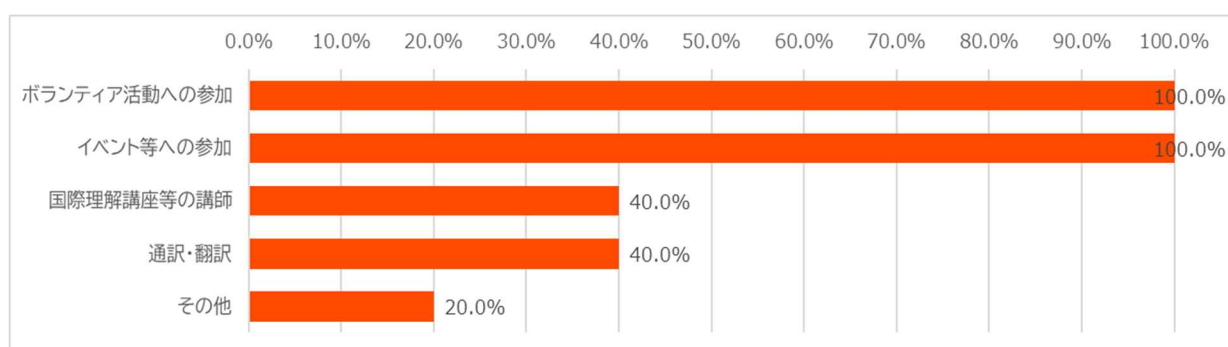
共同授業、ベトナム交流支援

(8)問(7)で「実施している」と回答した方について、他団体との連携・交流に関して大学又は教職員の関わり方(複数回答)(n=5)



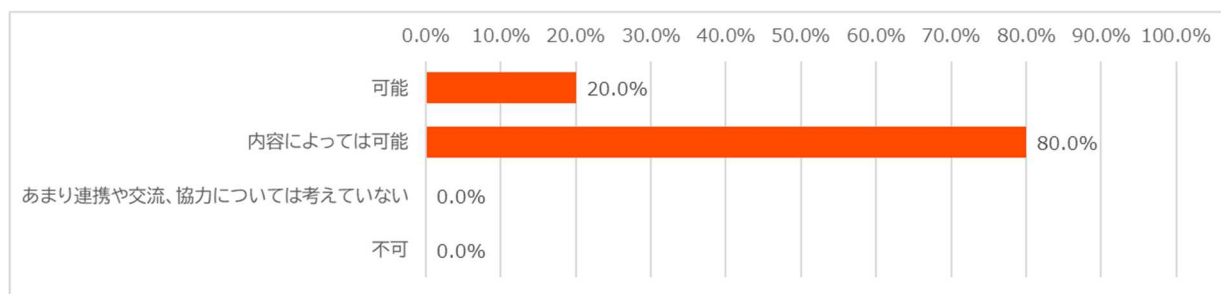
事業企画	4
事業運営	4
教材作成	0
日本語教育カリキュラム作成	1
学習者紹介	2
日本語能力判定	0
日本語講師の派遣・紹介	2
日本語の教え方を教える講師の派遣・紹介	1
その他	0

(9)問(7)で「実施している」と回答した方について、地域活動に関する留学生の関わり方(複数回答)(n=5)



ボランティア活動への参加	5
イベント等への参加	5
国際理解講座等の講師	2
通訳・翻訳	2
その他	1

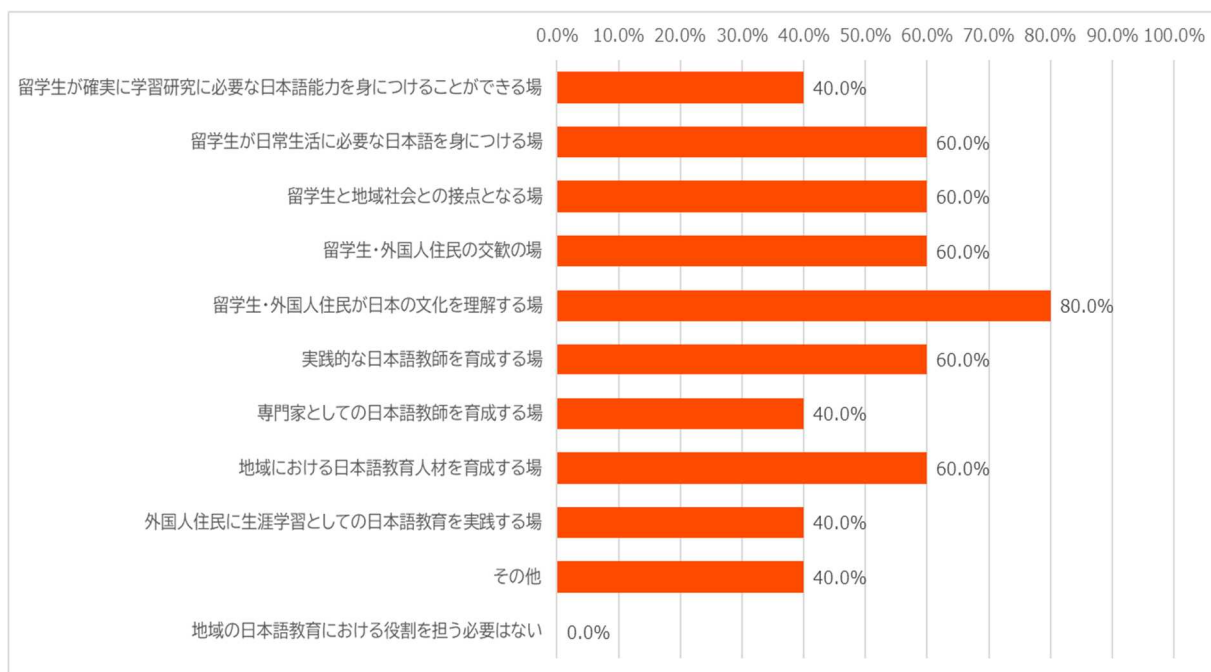
(10)日本語教育に関して、今後、他の団体(他大学、県、市町村、国際交流協会、企業、NPO、日本語学校 etc)から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能か(n=5)



可能	1
内容によっては可能	4
あまり連携や交流、協力については考えていない	0
不可	0
計	5

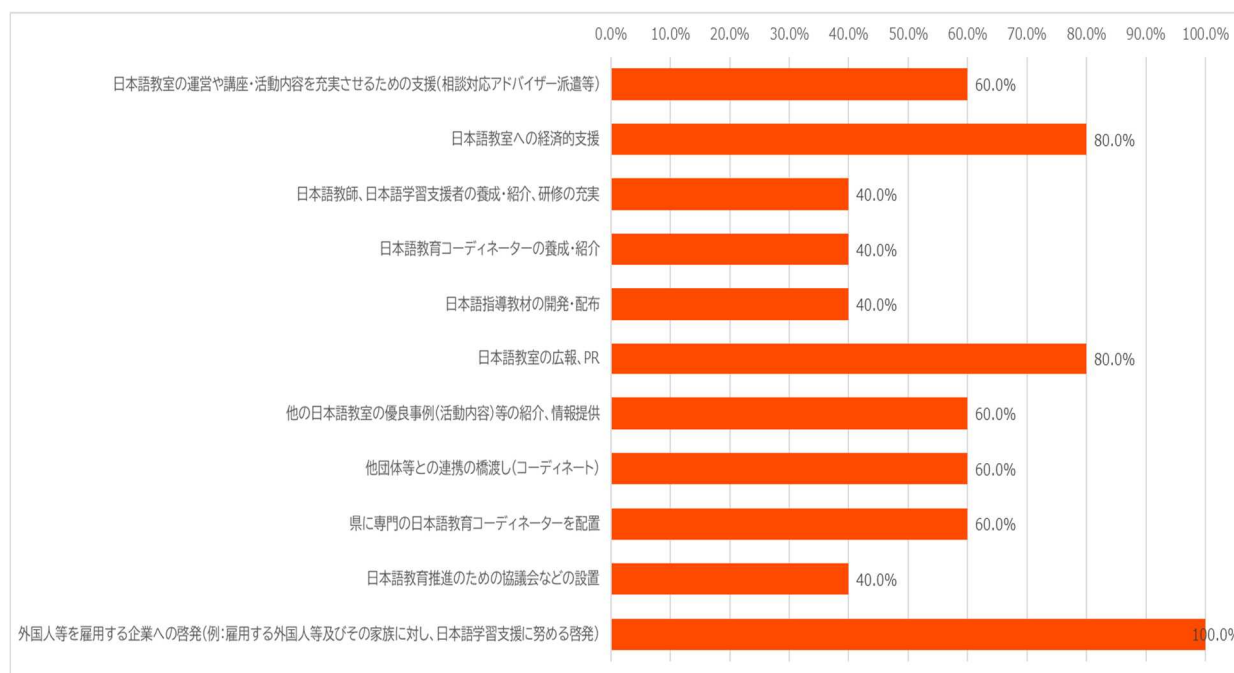
(11)地域の日本語教育※における大学等の役割にどのようなものがあるか(複数回答)(n=5)

※ 地域の日本語教育:外国人等が日本語を習得するために行われる教育その他の活動(外国人等に対して行われる日本語の普及を図るための活動を含む)をいう。



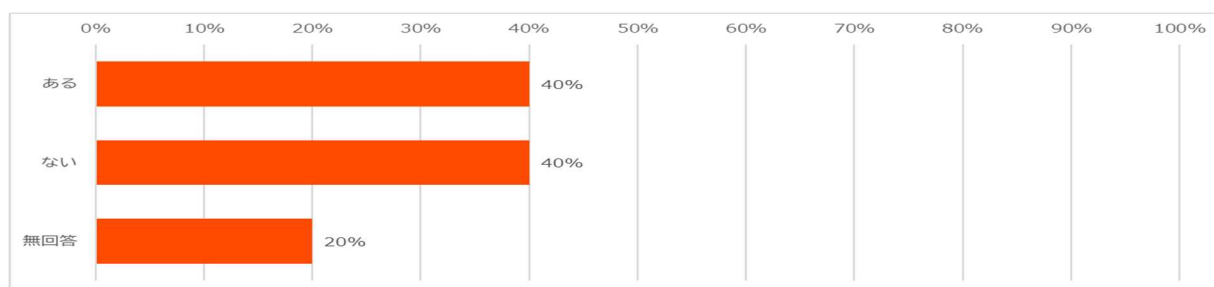
留学生が確実に学習研究に必要な日本語能力を身につけることができる場	2
留学生が日常生活に必要な日本語を身につける場	3
留学生と地域社会との接点となる場	3
留学生・外国人住民の交歓の場	3
留学生・外国人住民が日本の文化を理解する場	4
実践的な日本語教師を育成する場	3
専門家としての日本語教師を育成する場	2
地域における日本語教育人材を育成する場	3
外国人住民に生涯学習としての日本語教育を実践する場	2
その他	2
地域の日本語教育における役割を担う必要はない	0

(12) 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと考えるか(複数回答)(n=5)



日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援(相談対応アドバイザー派遣等)	3
日本語教室への経済的支援	4
日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	2
日本語教育コーディネーターの養成・紹介	2
日本語指導教材の開発・配布	2
日本語教室の広報、PR	4
他の日本語教室の優良事例(活動内容)等の紹介、情報提供	3
他団体等との連携の橋渡し(コーディネート)	3
県に専門の日本語教育コーディネーターを配置	3
日本語教育推進のための協議会などの設置	2
外国人等を雇用する企業への啓発(例:雇用する外国人等及びその家族に対し、日本語学習支援に努める啓発)	5
その他	1
特になし	0

(13)大学による日本語教育に関する事業の内容が分かるウェブサイトやSNSなどがあるか(n=5)



ある	2
ない	2
無回答	1
計	5

(14)日本語教育事業に関して、県に対してのご意見・ご提案(自由記述)

- ・ 外国人留学生が県内の高校生、大学生や地域の人たちとの交流を通して、実践的な日本語を習得できるような企画などを全県的なレベルで実施してもらえるとうれしい
- ・ 年少者日本語教育の充実(初期教育時間の確保、支援時間の延長など)
- ・ 大学は、入学準備課程(日本語別科)以外については、大学の講義を受講する水準の語学能力を有する学生を採用するように強い指導を受けている(文科省及び出入国在留管理庁)。他言語のみでの学位取得が可能な課程を設けていない限り、この基準を遵守している場合、このアンケートの「留学生に対する日本語教育の質問項目」の多くは、前提が大きく相違するのであまり意味をなさない。一方、県内の在留外国人の急増は、留学生以外の在留資格者が多くを占めており、この傾向は今後も継続すると想定されることから、日本語教育とコミュニティとの交流について、受入機関のみに期待するのではなく、行政の取組が必要になると思われる。特に、都市部以外の県南、県西等においては、その必要性が大きくなるものと思われる。

日本語教育に関するアンケート報告書
令和 7 年 7 月
〔編集〕 徳島県生活環境部多文化共生・人権課